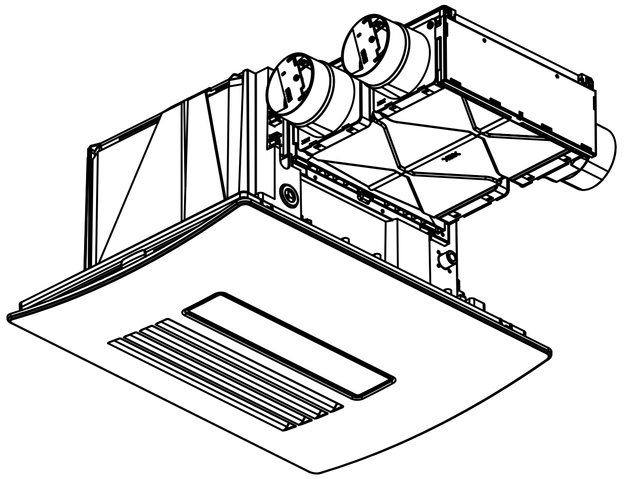
Panasonic

工事説明書

ミストサウナ機能付き

浴室暖房換気乾燥機

品 名　BVーY44BT1LM
BVーY44BL1LM



イラストはBVーY44BT1LMタイプを示しています。

はじめに

・この工事説明書に従って正しく設置してください。
・保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡ししてください。
・操作方法を取扱説明書に基づいてお客様によく説明してください。
・電気工事は、「電気設備技術基準」および「内線規程」に従っておこなってください。
・電気設備技術基準、建築基準法、水道法、各都市の条令、消防法に従い設置工事をおこなってください。
・循環水および給水は上水をご使用ください。
（温泉水でのご使用はしないでください。配管の腐食による水漏れなどの原因になります）
（この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は商品の保証を致しかねますのでご注意ください）
・設置工事完了後は、裏表紙の「設置確認チェックリスト」に基づき、必ず確認をおこなってください。

もくじ

安全上のご注意

■設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ設置してください。
■設置工事完了後、試運転をおこない異常がないことを確認し、取扱説明書に基づいてお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この工事説明書は、取扱説明書といっしょにお客様で保管いただくように依頼してください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

(禁止)	してはいけない内容です。
(強制) (アース)	実行しなければならない内容です。

⚠警告

No.	図記号	内容
1	(強制)	設置は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。 ご自分で設置工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
2	(強制)	設置工事は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「水道法」「各都市の条例」に従って確実におこなってください。 設置に不備があると、水もれや感電、火災の原因になります。
3	(強制)	設置は、重量に十分耐える所に確実におこなってください。 強度不足や取り付けが不完全な場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
4	(強制)	電気工事は、「電気設備技術基準」、「内線規程」、および工事説明書に従って施工し、できるだけ専用回路を使用してください。 電源回路の容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
5	(禁止)	浴室内または浴室に隣りあわせている脱衣室などに、CF式、FE式の風呂釜や給湯器が設置してある場合は、本体を取り付けできません。 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
6	(アース線接続)	アース工事をおこなってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アース線が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
7	(強制)	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製のダクトや配管などが貫通する場合、金属製のダクトや配管などとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように絶縁処理をほどこしてください。漏電した場合、火災の原因になります。
8	(禁止)	凍結予防のため冬期は専用ブレーカーを「OFF」にしないでください。 冬期外気温が0℃以下になりますと、温水回路の水が凍結し、温水回路の破損につながります。破損しますと、多大な被害を引き起こすことがあります。
9	(禁止)	食用油、動物系油脂、機械油、ドライクリーニング油、アロマオイル、パーマ液、ベンジン、シンナー、ガソリン、樹脂（セルロース系）などの付着した衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しないでください。また、洗濯物のポケットにライターやマッチなどの可燃物がないことを確認してください。 油の酸化熱による、自然発火や引火のおそれがあります。
10	(強制)	サウナ運転終了後は、乾燥運転をおこなってください。残水による菌の繁殖により、多大な被害を引き起こすことがあります。
11	(禁止)	外気温が－10℃以下になるような地域には設置しないでください。 温水回路の水が凍結し、温水回路の破損につながります。破損しますと、多大な被害を引き起こすことがあります。

⚠警告

12	脱衣室リモコンスイッチは浴室の外に取り付けてください。感電のおそれがあります。	16	漏電ブレーカーの取り付けが必要になります。取り付いていないと、感電の原因となることがあります。
13	交流100V以外では使用しないでください。火災のおそれがあります。	17	ホールインアンカーおよびボルトは、必ず本体荷重に耐えられるものを使用してください。（本体重量は約19kgです）けがや浴室の破損の原因となります。
14	ノズルカバー、ノズル固定板は確実に固定してください。ノズルが固定されていないと、吹出口から熱湯が垂れ、火傷の原因となることがあります。	18	●屋内分電盤または機器本体用電路部に漏電ブレーカーが設置されているか確認する。 ●接続時に入力電圧（AC100V）を確認する。 ●端子台のアース表示と電源線のアース線を必ず確認して接続する。 火災や感電のおそれがあります。
15	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置はおこなわないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。		

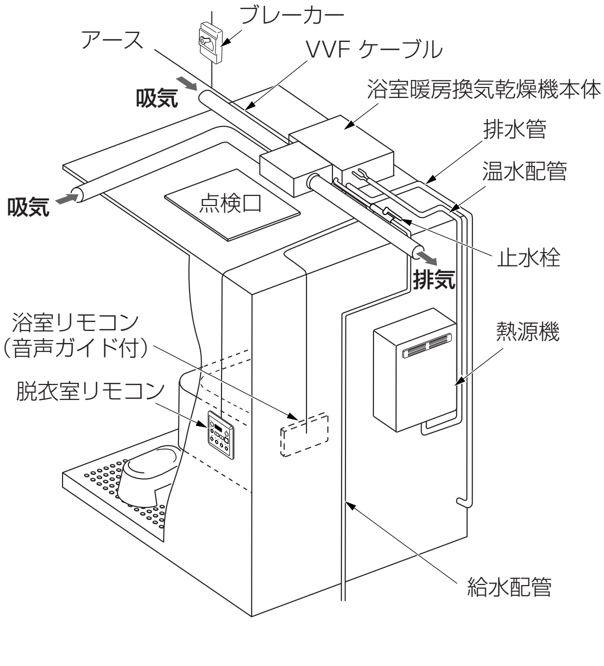
⚠注意

1	部品の取り付けは確実におこなってください。落下により、けがをするおそれがあります。	3	製品本体への給水は上水を使用してください。温泉水、井戸水などのご使用はしないでください。配管内へのスケールによる詰まり、配管の腐食による水漏れなどにより多大な被害を引き起こすことがあります。
2	接着タイプのタイル貼りユニットバスの場合は、タイルのはく離強度について事前にユニットバスメーカーと相談してください。温湿度の変化により、タイルがはがれ落ちることがあります。	4	温泉水を引き込んだ浴室には設置しないでください。温泉水や温泉成分を含んだ入浴剤を使用した湯水が本体に付着すると、変色、腐食などにより、性能および耐久性を著しく損なう原因となります。

お願い

■本製品は給水、ドレン水（自然勾配）の配管工事が必要なため、事前に建築側、ユニットバスメーカーと十分に調整してください。
■製品本体の重量が約19kgあります。製品本体および接続配管に十分耐える強度であるか確認してください。強度が弱い場合は、十分な強度が保てるよう補強をおこなってください。
■サーモミキシングバルブの仕様によっては、バルブが故障する場合があります。過圧逃し弁が必要かどうかユニットバスメーカーと相談してください。
■工事の際に、製品本体内部への石膏ボードの粉などの侵入がないようにおこなってください。
■寒冷地（最低気温ー10℃以下）には取り付けないでください。凍結による故障の原因となります。

システム図

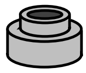
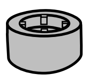
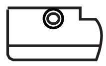
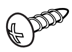
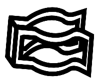
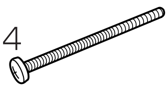
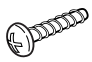
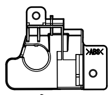
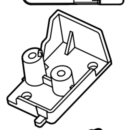
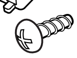


付属品・別売品

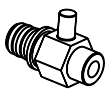
お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。

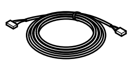
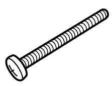
袋A

番号	付属品名	個数	
1	防振ゴム（下用凸形）	4	
2	防振ゴム（上用凹形）	4	
3	ワッシャー（予備）	2	
4	調整板 (BV−Y44BT1LMのみ)	1	
5	調整板固定用ねじ (M4×10) (BV−Y44BT1LMのみ)	1	
6	CHクリップ (大)	1	
7	フロントパネル取り付け用ねじ (M4×35)	4	
8	フロントパネル固定用ねじ ノズル固定ねじ (M4×16)	3	
9	ノズルカバー	1	
10	ノズル固定板	1	
11	ノズルカバー固定用ねじ ノズル固定板用ねじ (M4×10)	4	

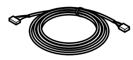
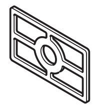
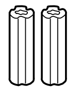
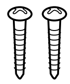
袋B

番号	付属品名	個数	
12	ドレンチェック継手	1	

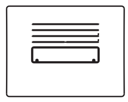
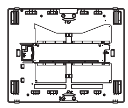
脱衣室リモコンセット

番号	付属品名	個数	
13	脱衣室リモコン	1	
14	脱衣室リモコンコード (5m)	1	
15	脱衣室リモコン取り付け用ねじ (M4×35) (リモコン裏面に付属)	4	

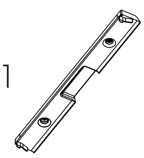
浴室リモコンセット

番号	付属品名	個数	
16	浴室リモコン	1	
17	浴室リモコンコード (5m)	1	
18	浴室リモコン用パッキン	1	
19	浴室リモコン用PYプラグ	2	
20	浴室リモコン用木ねじ	2	
21	浴室リモコン用平座金	2	

同梱品

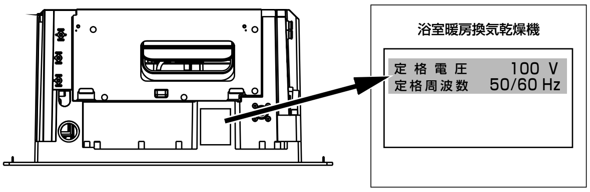
番号	付属品名	個数	
22	フロントパネル	1	
23	フロントパネル固定板	1	
24	取扱説明書 工事説明書 クイックマニュアル フック付吸盤 保証書	各1	
25	故障診断シート	1	

別売品

番号	付属品名	個数	
1	脱衣室リモコンコード (BV—YB10BLC) (10m)	1	
2	フィルターガイド (BV—YB44BTGM)	1	

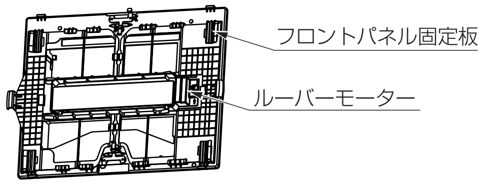
◆ 設置前の注意

●設置する機器の確認
銘板(ラベル)に表示してある電源
(電圧・周波数)に適合していること
を確認してください。



◆ フロントパネルの取り扱いについて

●フロントパネル固定板にはルーバーモーターが内蔵されているので、電気工事が終了するまで、ホコリや水に注意して保管してください。
●フロントパネルは、破損、そり、たわみのないよう梱包に入れたまま平らな場所に保管してください。



ユニットバスへの設置

◆ 設置場所の確認

●本製品は**1.5坪タイプのユニットバス**サイズまで設置可能です。
●浴室の天井はフラットなタイプをお選びください。天井が傾斜している、またはドーム形状になっている場合には設置できない場合があります。フラットな天井以外のユニットバスに設置する場合は事前にユニットバスメーカーに寸法を確認してください。
●天井中央部の補強用リブは **(天井厚み＋リブ高さ)＜ 50mm** としてください。
（高いと換気ボックスの取り付けや給水・電源などの接続ができない場合があります）
●浴室の**ドアは給気口付き**のものをご使用ください。
●天井材の強度が低い場合は、開口部の補強をおこなってください。
（強度についてはユニットバスメーカーに確認してください）
●プラスチック一体成型などの天井で、天井コーナーに大きなRの付いたタイプは、フロントパネル、本体などの取り付けができない場合がありますので、事前にユニットバスメーカ ーとご相談ください。
●本製品使用によりユニットバス内の湿度は100%程度から20%程度まで変化し、内壁面の温度も部分的に50℃弱まで上昇します。接着タイプのタイル貼りユニットバスの場合は、タイルのはく離強度について事前にユニットバスメーカーにご相談ください。
●物干しバー収納用受部材の位置に補強板を裏打ちしてください。
●浴室以外（脱衣室、クローゼットなど）には設置しないでください。
●浴室の天井高さは**2200mm以下**としてください。
●浴室に窓を設ける場合は**1m²以下**としてください。
●自然給気口または給気ファンは、24時間換気を効率的におこなうために、外気に面している各部屋に設けてください。
●トイレ、脱衣室に設置する吸込グリルは、必ずφ100用でフィルター付のものを使用してください。

> **⚠注意**
>
> ❗ **製品本体への給水は上水を使用する**
> **温泉水、井戸水などの使用はしない**
> 配管内へのスケールによる詰まり、配管の腐食による水漏れなどにより多大な被害を引き起こすことがあります。

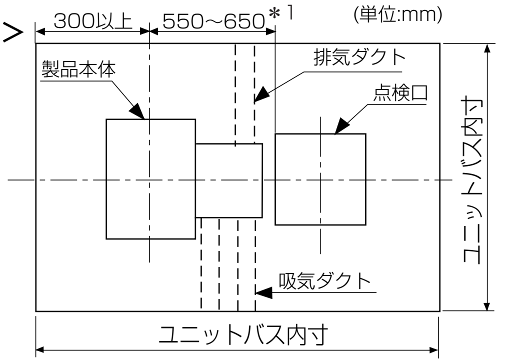
工事業者との事前調達

●給水、ドレン管の逃し寸法、ユニットバスの使用温度範囲について、事前に建築側、ユニットバスメーカーと十分調整してください。
●給水配管逃し位置先端に、メンテナンス用の止水栓を必ず取り付けるよう依頼してください。
※止水栓を逆止弁付きにするかどうかは、各市町村に確認してください。
●給水圧が0.15～0.5MPa(1.5～5kgf/cm²）の範囲内であるか確認してください。
（給水圧が0.5MPa(5kgf/cm²)を超える場合は0.2～0.3MPa(2～3kgf/cm²)設定の減圧弁を取り付けるように依頼してください）
●冬期外気温が0℃以下になりますと、給水管・ドレン管・温水配管の水が凍結し、破損することがあります。破損しますと、水もれにより多大な被害を引き起こしますので、必ずシステムに適合した凍結予防策を実施してください。
●給水配管工事終了後、配管逃し位置で管の洗浄をおこなうように依頼してください。
（配管逃し位置は「浴室天井開口位置と寸法」（6ページ）を参照）

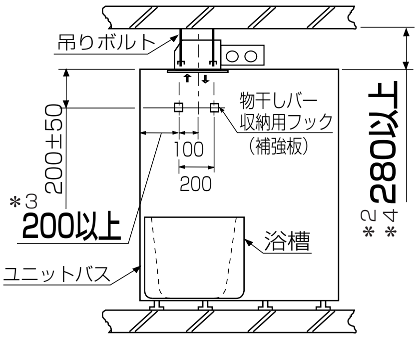
製品本体の設置位置

◆ 浴室天井開口位置と寸法

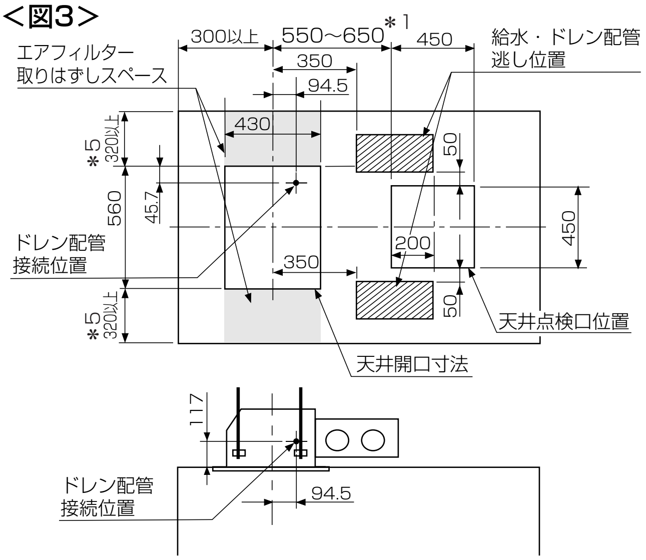
<図1>



<図2>



<図3>



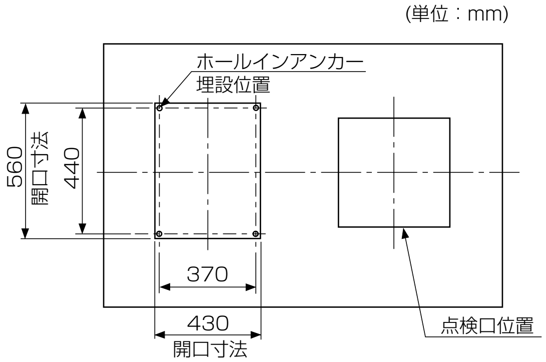
<図1>
※排気ダクト などは点検口の開口部を避けて配管してください。メンテナンス作業に支障をきたします。
（イラストはBV―Y44BT1LMタイプを示しています）
＊1 製品本体中心から点検口までの＊1寸法は取り付けおよび保守作業上、左記寸法を確保してください。また、＊1寸法は650mm以上になると、配管接続が困難になります。
＊2 本製品の設置は、ユニットバス天井上面（断熱材がある場合は、断熱材の上面）から上部スラブ天井までの寸法が280mm以上必要です。
＊3 ユニットバス壁面から、物干しバーまでの距離は200mm以上とってください。ハンガーが吊せなくなるおそれがあります。

<図2>
＊4 **本製品を設置するために天井有効寸法は280mm以上必要です。この範囲に障害物がないことを確認してください。**
※物干しバー、排気ダクトなどは浴室暖房乾燥機の付属品ではありません。

<図3>
※開口寸法（430×560mm）は浴槽の中心に開けてください。
※点検口は450×450mmの大きさを確保してください。開口後の天井面の端面には市販の錆止めを塗布してください。
給水配管接続位置は39ページを参照してください。

＊5 **浴室天井　　部は、エアーフィルターの取りはずしの必要スペース寸法です。照明などを設置しないでください。**
またこの間に段差などの障害物があると、エアーフィルターを取りはずすことができなくなります。
フィルターガイド（別売品）をご使用になりますと、必要スペース寸法が120mm以上での設置が可能になります。
フィルターガイドを左右とも設置する場合は、2個購入してください。
詳細は付属の工事説明書を参照してください。

◆ 吊りボルト位置



ホールインアンカーは、浴室の上部スラブ面左図の位置に埋設してください。
※ユニットバスの設置位置をよく確認してからホールインアンカーの位置を決めてください。
木造住宅等、ホールアンカー以外の方法で吊りボルトを固定する場合は、建築側と協議の上、固定方法を決定してください。

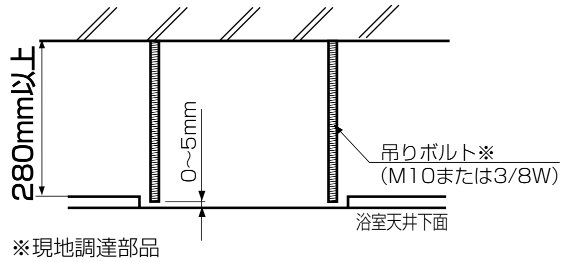
⚠ 警告

ホールインアンカーおよびボルトは、必ず本体荷重に耐えられるものを使用する（本体重量は約19kgです）
けがや浴室の破損の原因になります。

◆ 吊りボルトの長さ

ホールインアンカーに**傾きがないよう**に吊りボルトをねじ込んでください。

※吊りボルトの先端部が天井下面を基準にして0～5mmになる位置に調節してください。
吊りボルトが長いとフロントパネル固定板に吊りボルトが当たり、天井との間にすき間が発生し、短い場合には本体の取り付けができなくなります。



※現地調達部品

お願い

- 吊りボルト・ナットはステンレス製または防錆処理を施したものを使用してください。また寸切りしたボルトなどの切断面にも必ず防錆処理をおこなってください。ただしステンレス製の切断面は除きます。
- 製品本体吊り位置と吊りボルトの位置がずれないようにしてください。
- 天井に吊りボルトを固定する時、製品重量に耐えられるようアンカー強度に注意してください。
- 吊りボルトは垂直にねじ込みしてください。また、吊りボルトを途中で曲げないようにしてください。

◆ 製品本体の吊り込み

① 吊りボルト(4本)に**ナット、防振ゴム(上用)**を取り付けてください。

※防振ゴム（上用）の下面が浴室天井下面より約34mmになるようにしてください。

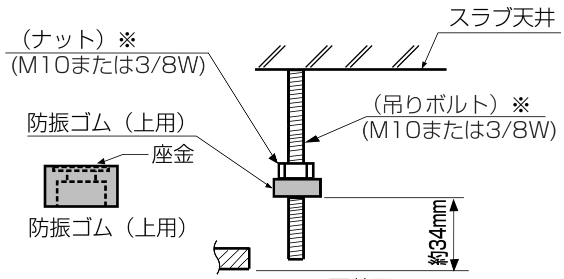
※防振ゴム(上用)は凹形のものです。

※防振ゴムの座金をナット側へ向けてください。

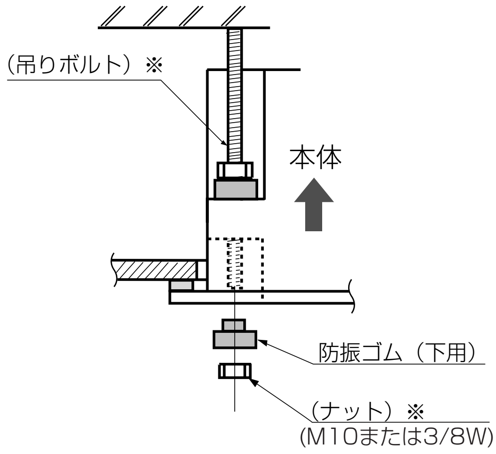
② 製品本体を吊りボルトに通します。

③ 本体下側から4本の吊りボルトに、**防振ゴム(下用)**、**ナット**を取り付け、本体を仮吊りします。

※防振ゴムの座金をナット側へ向けてください。



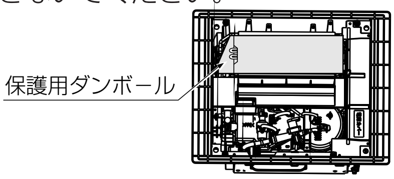
※吊りボルト、ナットは現地手配
（防振ゴムは付属品です）



※吊りボルト、ナットは現地調達部品
（防振ゴムは付属品です）

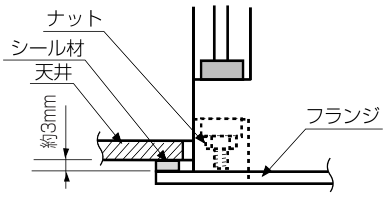
お願い

- 熱交換器が点検口とは逆側になるように吊ってください。（本体側面の開口が点検口側になります）
- 熱交換器の保護用ダンボールは、フロントパネルを取り付けるまではずさないでください。



◆ 製品本体の位置調節

- 天井面と製品本体のフランジ面のすき間が約3mmになるまで(シール材が約3mmにつぶれるまで)、ナットを締めてください。シール材と天井との間にすき間があると天井裏への湿気もれの原因となります。
- 製品本体は、ドレン勾配が確実に取れるように水準器などを使用して必ず水平に設置してください。



物干しバー収納用受部材の固定

① 物干しバーの受部材の位置に補強板を裏打ちしてください。
② 物干しバーのフック取り付け位置は

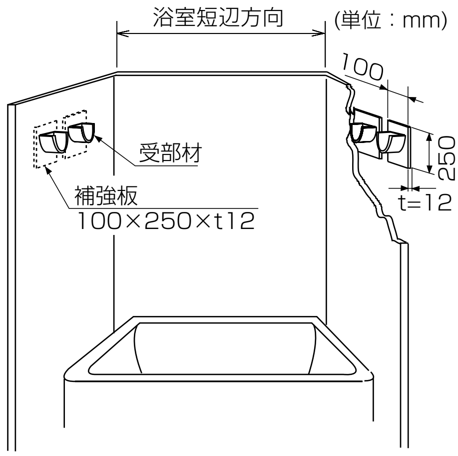
●物干しバーⒶ：本体中心から浴槽側壁面方向へ100mm、
　　　　　　　浴室天井より200±50mm

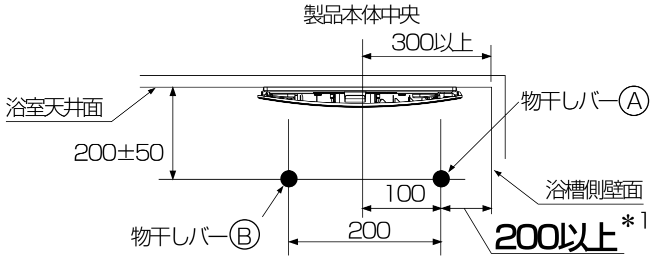
※物干しバーⒶと浴槽側壁面までの距離が200mm以上（＊1寸法）
　とれない場合でも、物干しバーⒶと浴槽側壁面までの距離を200mm
　としてください。ハンガーが吊るせなくなるおそれがあります。

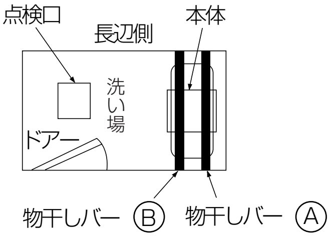
●物干しバー Ⓑ：Ⓐより洗い場側方向へ200mmで浴室天井より
　　　　　　　200mmの位置に取り付けてください。

また、使用しない時に物干しバーを収納する物干しバー収納用受部材を取り付けてください。

※ 物干しバーは、吊り下げ重量10kgに耐えるものを使用してください。
※ 指定の位置から著しくずれる場合、温風が当たりにくくなり乾燥時間が長くなる場合があります。







温水配管の接続

温水配管のキャップは、配管接続まではずさないでください。

1. 温水配管（樹脂配管）の末端処理

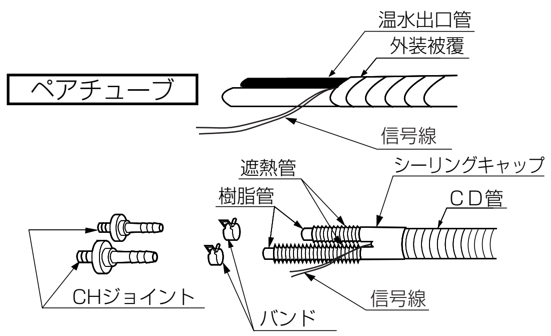
※温水配管は樹脂管を使用してください。

① ペアチューブ(PT-10A)の引き込み部分の外装被覆を
　200～300mm取り除いてください。

② CD管内にゴミや結露水が入らないようにシーリング
　キャップを取り付けてください。

③ ペアチューブは、遮熱管を通し、CHジョイントを
　差し込み、バンドで締め付けてください。

　※CHジョイントを差し込む際に傷がつかないよう、
　　スムーサーを使用してください。



※本項目の部品はすべて現地調達部品です。

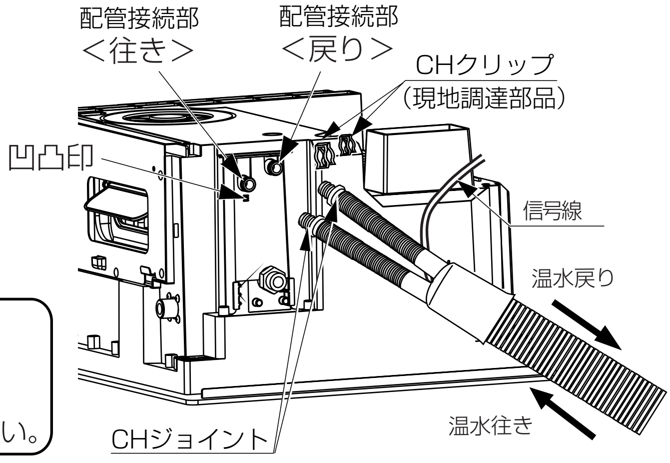
2. 温水配管と製品本体の接続

① 温水配管の往き側と戻り側を間違えないように
　配管接続部に挿入してください。
　●点検口から見て手前が往き管です。
　　（往き側の下部に凹凸の印がついています）
　　往き管と戻り管を間違えて接続すると、機器の
　　不動作や著しい性能不足となる可能性があります。

② 配管接続部にCHクリップ（現地調達部品）をはめ
　込んでください。

お願い

・暖房循環水の定格流量は3.5ℓ/分です。
・配管終了後、接続部から水もれがないことを確認
　してください。
・温水配管が樹脂配管であることを確認してください。



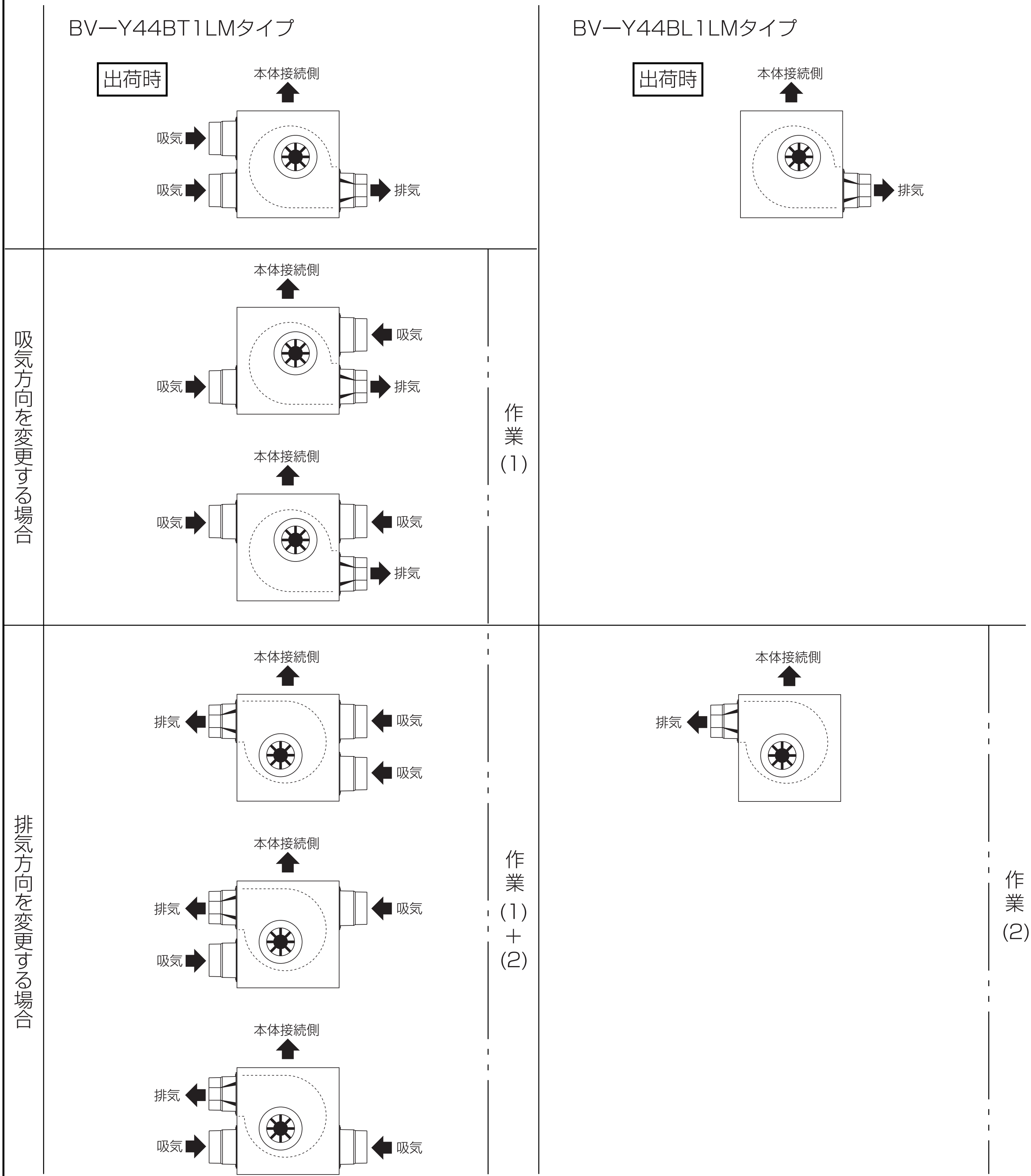
換気ボックスの取り付け

1. 換気ボックスの準備（図は換気ボックスを上から見ている方向で示しています。）

①吸気方向および排気方向を変更する場合は下図を参考にしてください。
変更の手順は10ページ以降を参照してください。

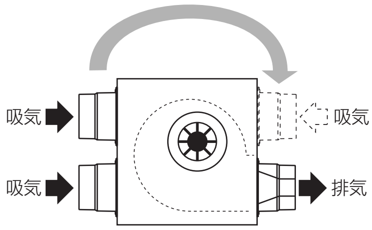
お願い

・排気アダプターは、はずさないでください。風もれの原因になる場合があります。



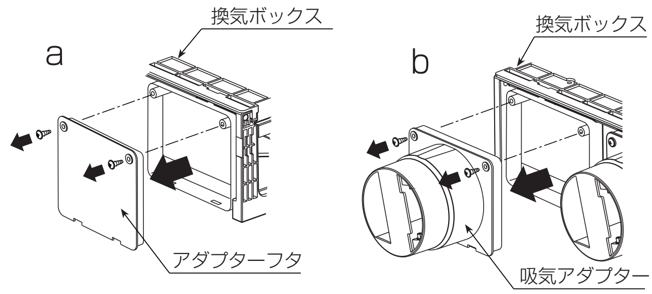
② ①で排気口、吸気口の方向を確認したあと、以下の要領で変更をおこなってください。
※出荷時の方向で取り付け可能な場合は、**2.換気ボックスの取り付け（11ページ）**から作業をおこなってください。

(1)**吸気方向を変更する場合**
(BVーY44BT1LMタイプ)



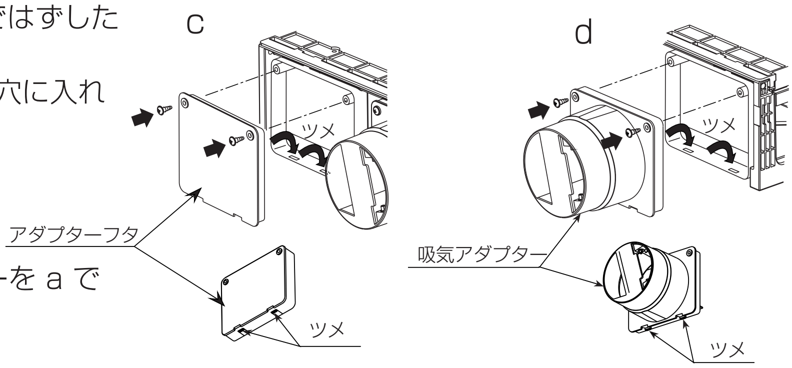
a. アダプターフタのねじ2個をはずしてフタを換気ボックスよりはずします。

b. 吸気アダプターのねじ2個をはずして吸気アダプターを換気ボックスよりはずします。



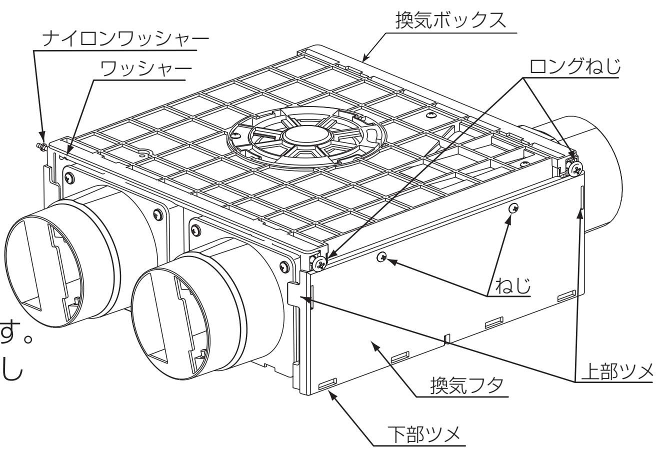
c. a ではずしたアダプターフタを b ではずした開口部に取り付けます。
フタの下部ツメを換気ボックスの角穴に入れてからねじ2個で固定してください。

d. 同様に b ではずした吸気アダプターを a ではずした開口部に取り付けます。



(2)**排気方向を変更する場合**
a.換気ボックスからロングねじ（2個）をはずし、逆方向から挿入します。
（この時、ロングねじについているワッシャー、ナイロンワッシャーをなくさないよう注意してください。ワッシャーをなくした時は、付属品の平座金を使用してください。）
ロングねじを換気ボックスに取り付けるとき、ワッシャー、ナイロンワッシャーを元の位置に取り付けてください。
b.換気フタのねじ2個と上部ツメ2か所をはずし、換気フタを下にずらして換気ボックスからはずします。
c.換気ボックスの反対側に換気フタを取り付けます。
換気フタ下部のツメを換気ボックスの下部に差し込んだのち、上部ツメ2か所を換気ボックスにはめ込み、ねじ2個で締めてください。
※ファンやファンモーターは換気ボックスからはずして反転する必要はありません。
反転した場合は、排気できなくなります。

（イラストはBVーY44BT1LMタイプを示しています）



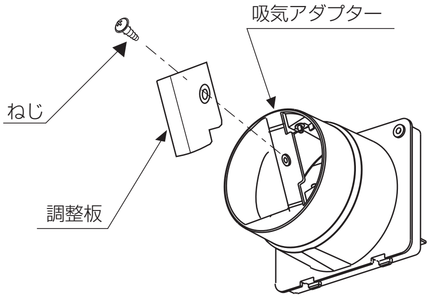
お願い
・排気アダプターははずさないでください。風もれの原因になる場合があります。

(3)**吸気の分配を変更する場合**

BVーY44BT1LMタイプの場合のみ

a.トイレの吸気量を減らしたいなど、吸気の分配を変更する場合は、付属の調整板を使用してください。

b.吸気量を減らしたい場所（トイレなど）に接続される吸気アダプターに調整板をねじ止めします。



（例）吸気の分配を変更すると、浴室：脱衣室：トイレの比率が、9：5：5 から右表のようになります。
さらに、微調整が必要な場合のみ、調整板を折って調整してください。

取付位置	比率(浴室：脱衣室：トイレ)
トイレ	9：5：3
脱衣室	9：3：5

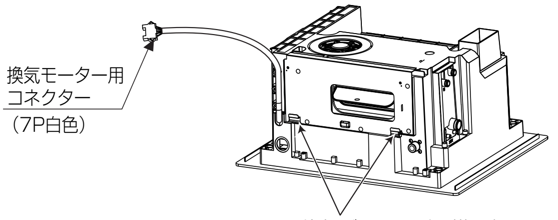
2. 換気ボックスの取り付け

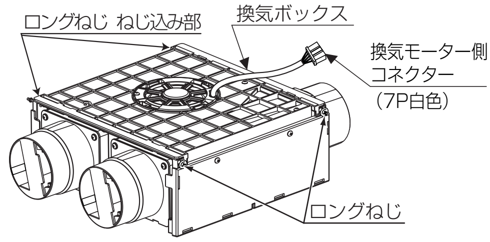
① 点検口から換気ボックスを天井裏に上げてください。

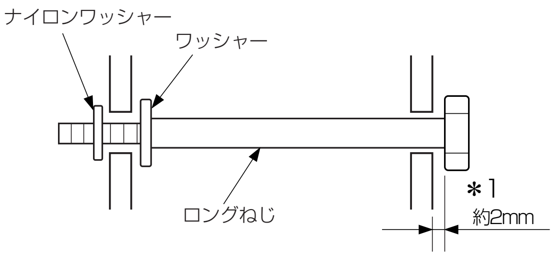
② 製品本体側面に設けた換気ボックス引っ掛け具（2か所）に換気ボックスの下端を引っ掛け、換気ボックス上側のロングねじ(2個)で製品本体にねじ込み、固定してください。
※ロングねじは締め込んだ状態でねじ頭が換気ボックスより約2mm浮き上がります。
(約2mm浮きあがらない場合は、付属のワッシャー（予備）を入れてください)

③ 製品本体外に出ている換気モーター用コネクター（7P白色）と換気ボックスから出ている換気モーターのコネクター（7P白色）とを接続してください。

（イラストはBVーY44BT1LMタイプを示しています）







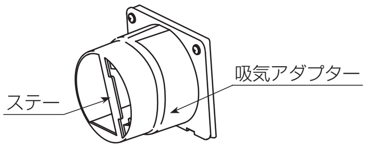
お願い

・換気ボックスを製品本体に取り付けた状態で製品本体および換気ボックスが水平に設置されているか確認してください。水平に設置されていないと、ドレン水が換気ボックスにたまる原因になります。

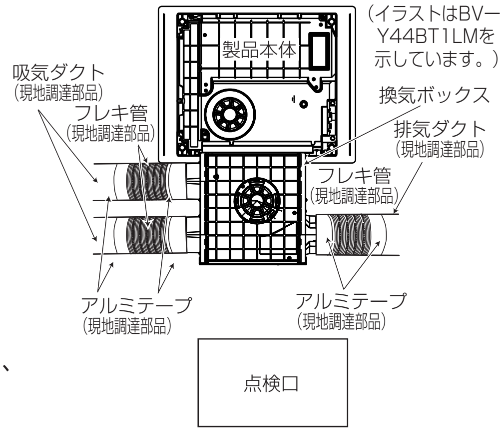
・天井補強用リブに接触していないことを確認してください。
補強用リブに接触していると、異常音の原因となります。
接触している場合は下記を確認してください。
①ロングねじは確実に固定されていますか。
②製品本体の吊り込みは確実ですか。
（「製品本体の吊り込み」（7ページ）を参照）
③浴室の天井に変形などがありませんか。

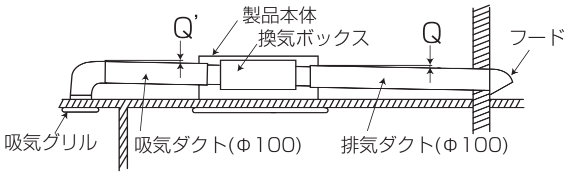
排気ダクト、吸気ダクトの接続

排気ダクト、吸気ダクトを接続するときは、排気アダプターと吸気アダプターを間違えないようにしてください。（吸気アダプターには、ステーがあります）



① 排気ダクト、吸気ダクトは点検口の開口部を避けて配管してください。（メンテナンス作業に支障をきたします）
② 排気ダクトおよび吸気ダクトと換気ボックスとの接続部は必要に応じてフレキ管を使用してください。
③ 排気ダクトは雨水や結露水が本体内に逆流せぬよう傾斜角度Qを設けてください。
（Q＝1/100 ～ 1/50）
④ [BV−Y44BT1LMタイプの場合]
吸気ダクトは結露水が逆流しないように吸気グリル側に対し、換気ボックス側の方が低くなるように傾斜角度Q'を設けてください。（Q'＝1/100 ～ 1/50）
⑤ 接続部分のフレキ管は急激に曲げないでください。
換気ボックスの排気口部分に付いているシャッターがダクトに引っ掛からないことを確認してください。
⑥ ダクトと換気ボックス（またはアダプター）との接続はアルミテープを全周に巻き、もれのないように固定してください。

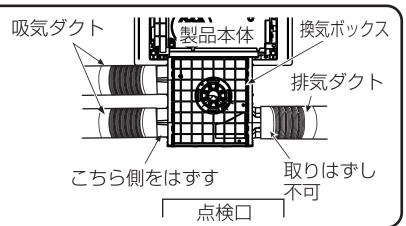




※グリル・ダクト・フレキ管・アルミテープは現場調達部品

お知らせ

●吸気ダクトが2本並んでいる場合、アルミテープを巻くのが困難なときは点検口から見て手前側のアダプターを一度はずし、奥側のダクトを固定したあと、再び手前側のアダプターを取り付けてダクトを接続すると、作業がしやすくなります。



⑦ **屋外の換気口（フード）は ステンレス製のものをお使いください。**
（参考：パナソニック エコシステムズ(株)製　FY−MFX043、FY−MCX042（防虫網なし））
防虫網など目詰まりしやすい換気口（フード）を使う場合は、定期的に掃除が必要です。掃除が出来るように配慮してください。
⑧ 吸気グリルは換気ボックス内にゴミやホコリがたまるのを防止するためフィルター付のものを使用してください。

参考： パナソニック エコシステムズ(株)製		(株)ベンテック製	
風量調整機能付	FY−GWV043	風量調整機能付	VB−GE100P2
風量調整機能なし	FY−GFP04		

お願い

・排気ダクト、吸気ダクトと製品本体との接続はリベットおよび接着材を使用しないでください。
アダプター内のシャッターが引っ掛かったり、製品のメンテナンスができなくなる可能性があります。
・排気アダプターは、はずさないでください。風もれの原因になる場合があります。
・脱衣室・トイレの吸気グリルは、天井の中央部に取り付けてください。吸気グリルの取り付け方法は、グリルの工事説明書に従ってください。
・他の機器と排気ダクトを共有できません。排気ダクトへの接続は単独としてください。

給水管・ドレン管の工事

給水・ドレン水工事は各市町村の条例に従ってください。

1. 給水配管工事

お願い

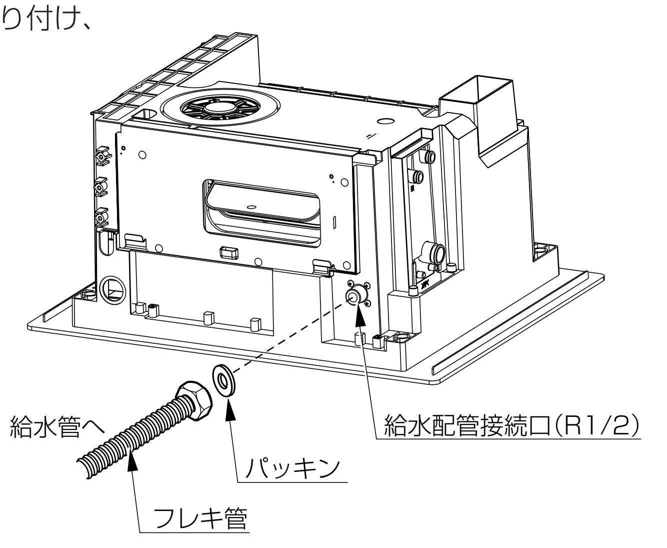
・事前にユニットバス天井裏に給水配管が設置されるように建築側およびユニットバスメーカーとの調整をおこなってください。
・給水配管工事は、水道事業者指定工事店に依頼してください。
・上水を必ず使用してください。温泉水、井戸水は使用しないでください。
・本製品の水道水圧の適用範囲は0.15～0.5MPa（1.5～5kgf/cm²)です。
　適用範囲を越える場合や、他の水栓などの開閉時に水道配管の水撃（ウォーターハンマー現象）が発生する場合は、減圧弁を取り付けてください。
　※減圧弁の設定圧力は0.2～0.3MPa（2～3kgf/cm²)としてください。
・給水配管材料は、各市町村水道局（課）承認のものを使用してください。
・給水配管逃し位置先端に、メンテナンス用の止水栓を必ず取り付けてください。
　（止水栓を逆止弁付きにするかどうかは、各市町村に確認してください）
・製品本体の取りはずしを容易にするため、本体と給水配管の接続は、フレキ管などを使用してください。
・製品本体と給水配管を接続する前に、止水栓を開けて容器などに水を出し、給水配管内のゴミ、砂、切り粉などを流してください。
・必要に応じて給水・ドレン管についても保温してください。（凍結予防のため）

① 給水配管と機器とを接続する前に、給水元栓を開けて水受け容器などに水を出し、給水配管内のゴミ・砂・切り粉を流してください。

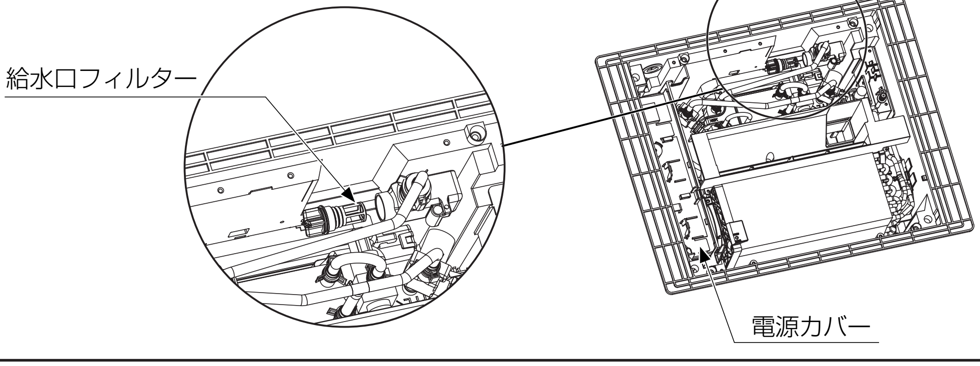
② 製品本体給水配管接続口にパッキン・フレキ管を取り付け、給水管に接続してください。

お願い

・給水配管は、点検口の上を通さないでください。
　（点検作業をおこなうとき、支障をきたします）
・排気ダクト、吸気ダクトに当たらないようにしてください。
　振動・騒音の原因となります。
・給水配管は固定してください。
　振動・騒音の原因となります。
・配管は無理に曲げないでください。
　水漏れの原因となります。



③ 通水テストを必ずおこない、止水栓を閉じてから給水口フィルターを取りはずし、給水口フィルターを掃除してください。



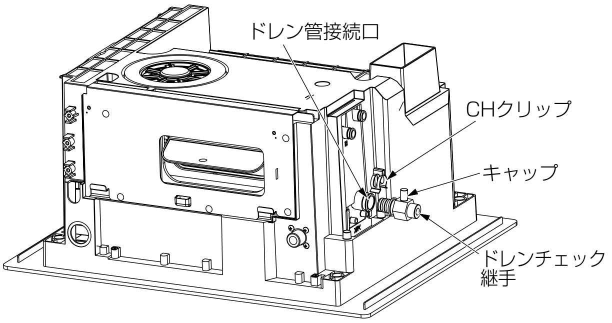
2. ドレン配管工事

お願い

・本製品は、ドレン配管工事が必要です。ドレン量0.3～1ℓ /min程度
・ドレンは自然排水です。ドレン配管は**必ず下り勾配を設けて**、水が流れるように引き廻してください。
・ドレン配管内部を流れるドレン温度は40～45℃になります。（ドレン管接続部近傍は最高50℃になることもあります）ドレン温度に耐える配管を選択してください。

①ドレン口に付属のドレンチェック継手を取り付け、接続部に付属のCHクリップをはめ込み、確実に固定してください。

※ドレンチェック継手はキャップが上方向になるように取り付けてください。

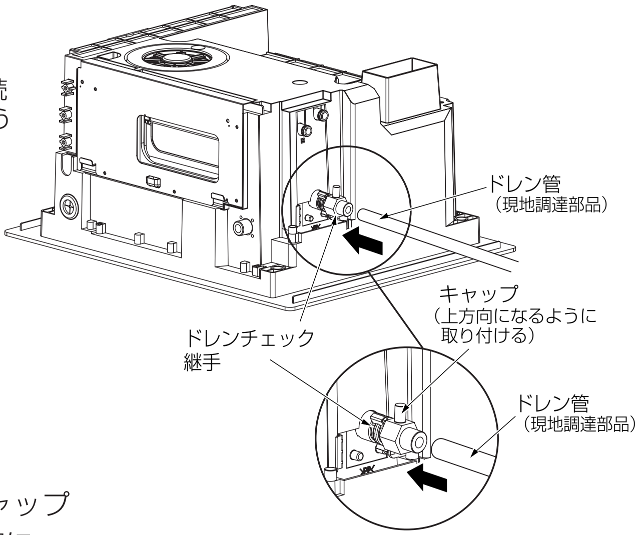


②ドレンチェック継手の接続口（R1/2）にドレン管を接続してください。

※ドレンチェック継手は回転しますので、ドレン管の接続時にドレンチェック継手のキャップが上方向となるように固定して接続してください。
ドレン管の先端は必ず大気開放にしてください。

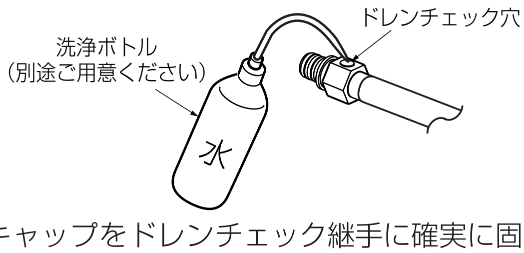
お知らせ

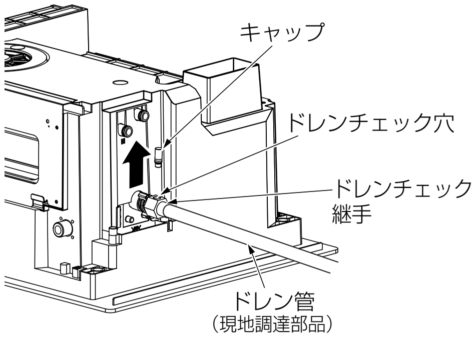
●ドレン管は先下り勾配としてください。機器のドレンチェック継手の位置以上にドレン管を立ち上げた場合、排水不良エラーとなり停止します。



③ドレン管接続終了後、ドレンチェック継手のキャップをはずし、ドレンチェック穴より水を入れ、確実に排水されることを確認してください。

※排水されない場合は、ドレン管に下り勾配を設け、確実に排水がされるように配管を引き廻してください。水もれの原因となります。
※水を注入する際は、「洗浄ボトル」（現地調達）を使用し、周囲に水もれしないように注意してください。





④キャップをドレンチェック継手に確実に固定してください。

お願い

・ドレン管は、点検口の上を通さないでください。
・ドレン管は、排気ダクト・吸気ダクトに当たらないようにしてください。
・ドレン管を固定してください。
・配管は無理に曲げないでください。
・ドレン管は上り勾配やトラップにならないようにしてください。排水管が詰まり、排水不良原因となります。
・ドレン管に直接入れる場合は間接排水としてください。
・排水は間接排水としてください。間接排水とする場合は、建物内部に湿気が漏れないように屋外でおこなうようにしてください。

●排水工事の参考例

○洗い場に排水する場合（工事部材を使用）
※現地調達部品

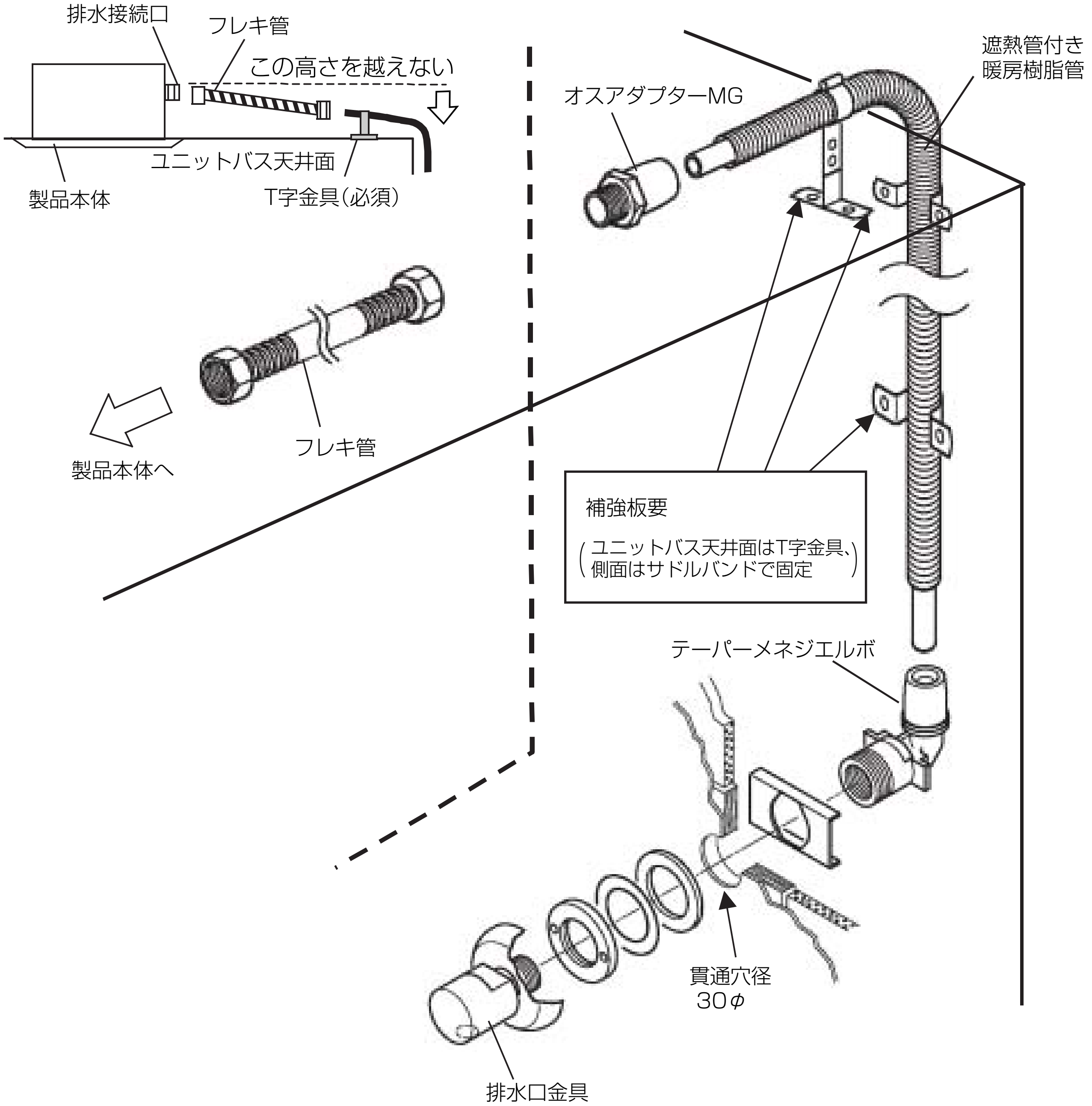
＜施工上の注意点＞

（１）事前に排水管の配管スペースが確保できていることを確認する。
※ユニットバスと建築物の離隔の目安は、50mm＋補強板厚み

（２）テーパーメネジエルボ（壁貫通継手）用の壁開口径はφ30mm（位置はユニットバスメーカーと相談）

（３）排水配管は、補強板をユニットバスに取り付けた後、天井面はＴ字金具、側面はサドルバンドでそれぞれ固定する。

（４）ユニットバス天井部の排水管（横引き部）は、機器の排水接続口よりも低い位置に配管する。
※排水管は先下り勾配とする。機器本体の排水接続口の位置以上に排水管を立上げた場合、排水異常となり、脱衣室リモコンに”434”を表示して停止します。



○ 浴槽エプロン内に排水する場合（工事部材を使用）
※現地調達部品

＜施工上の注意点＞

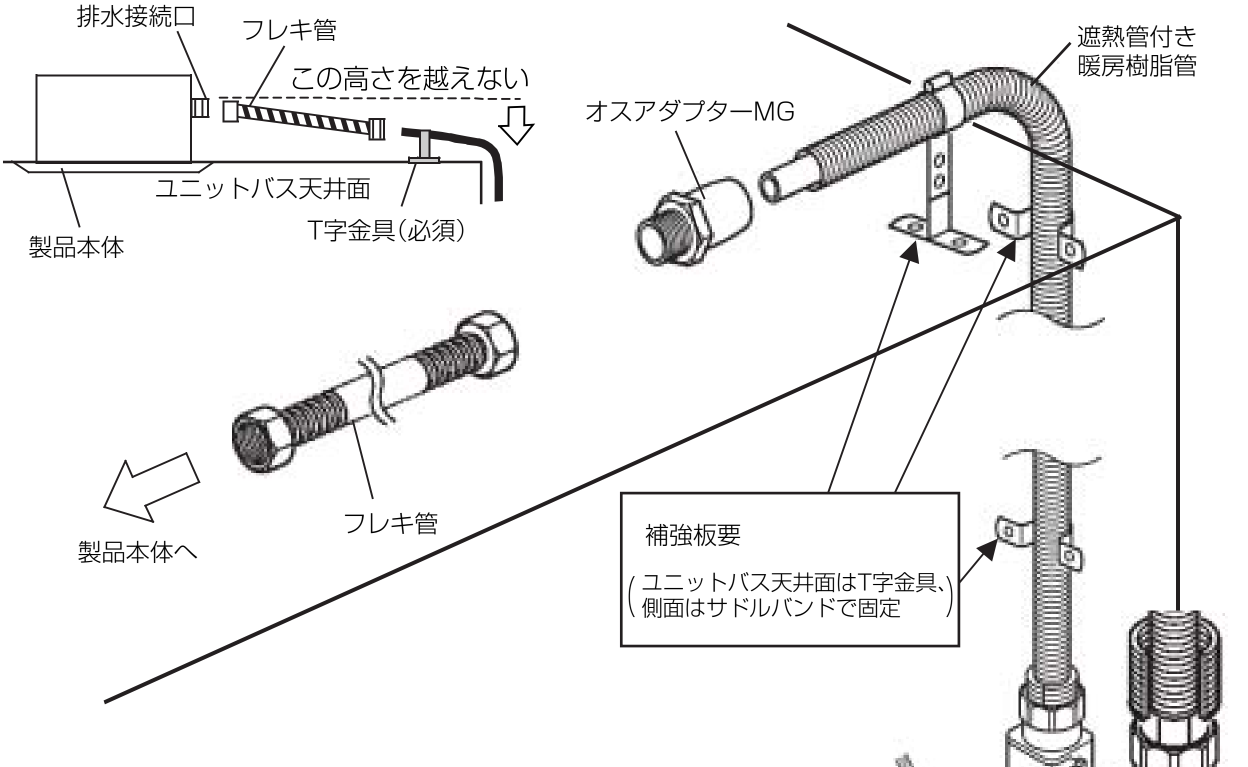
（１）事前に排水管の配管スペースが確保できていることを確認する。
※ユニットバスと建築物の離隔の目安は、60mm＋補強板厚み

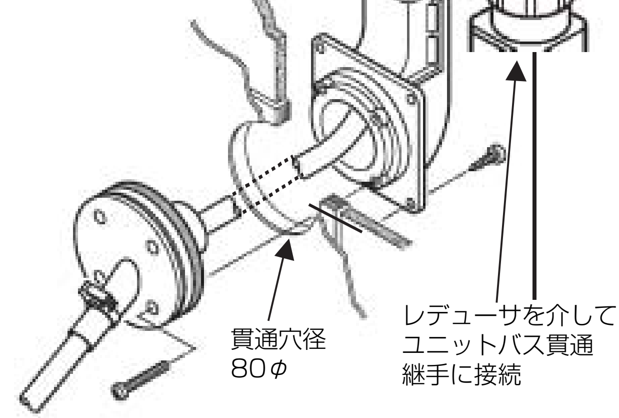
（２）ユニットバス貫通継手用の壁開口径はφ80mm、適用壁厚は10～30mm

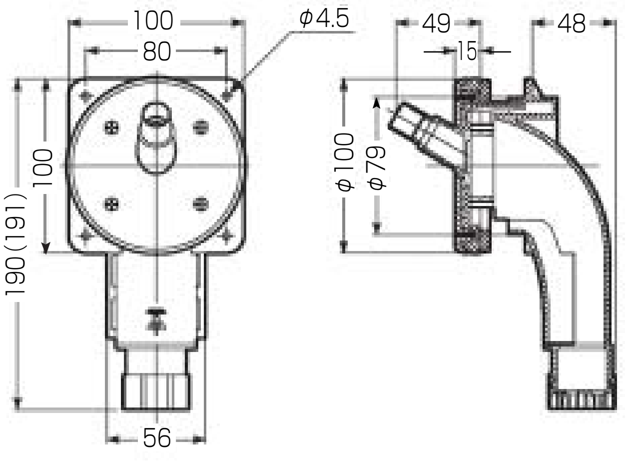
（３）排水管は、補強板をユニットバスに取付けた後、天井面はＴ字金具、側面はサドルバンドでそれぞれ固定する。

（４）ユニットバス天井部の排水管（横引き部）は、機器の排水接続口よりも低い位置に配管する。
※排水管は先下り勾配とする。機器本体の排水接続口の位置以上に排水管を立上げた場合、排水異常となり、脱衣室リモコンに”434”を表示して停止します。

（５）浴槽エプロン内の排水口の先は、ユニットバスメーカーと相談の上、排水口上に専用の工事部材で配管する。







UB貫通継手

電気工事と結線

◆ 電気工事とアース工事

●電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」に従い、有資格者がおこなってください。
●本製品の電源回路は、できるだけ専用回路としてください。
●機器の電源回路中には必ず高感度高速型の漏電ブレーカーを設けてください。
（専用回路の場合は15mA以下　0.1秒以内が望ましい）
●本製品には、必ず確実なアース工事（D種接地工事）をおこなってください。

⚠警告

1	設置工事は、この工事説明書および「電気設備技術基準」「建築基準法」「水道法」「各都市の条例」に従って確実におこなってください。設置に不備があると、水もれや感電、火災の原因になります。	4	配線工事、電源接続工事は、関連する法令・規程に従って、必ず電気工事士が確実におこなってください。できるだけ専用回路を使用してください。電源回路の容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
2	漏電ブレーカーの取り付けが必要になります。取り付いていないと、感電の原因となることがあります。	5	交流100V以外では使用しないでください。火災のおそれがあります。
3	アース線接続 アース工事をおこなってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース線が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。	6	●屋内分電盤または機器本体用電路部に漏電ブレーカーが設置されているか確認する。 ●接続時に入力電圧（a.c.100V）を確認する。 ●端子台のアース表示と電源線のアース線を必ず確認して接続する。 火災や感電のおそれがあります。

お願い

・本製品は100V専用です。200Vなどの高電圧を接続すると、故障の原因になります。
・外部換気スイッチ・照明スイッチ用端子台、電動シャッター用リード線にAC100Vを接続しないでください。制御基板の破壊の原因となります。
・アース工事は感電や漏電防止のため必ずおこなってください。

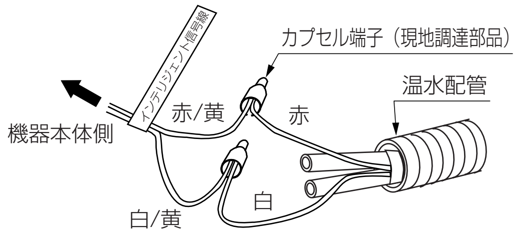
1. 信号線の結線

以下の項目はブレーカーが「OFF」になっていることを確認してからおこなってください。

●インテリジェント信号線の接続

インテリジェント信号「赤/黄」「白/黄」の先端のカプセル端子を切断し、熱源機側の信号線「赤」と「白」とカプセル端子で接続してください。

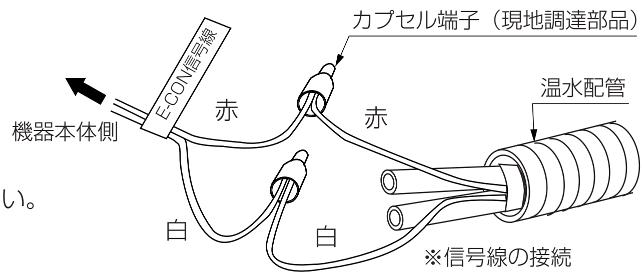
※「赤/黄」と「赤」 「白/黄」と「白」 をそれぞれ接続してください。
※自動試運転付熱源機より、自動試運転ができます。



●E−CON信号線の接続

E−CON信号線「赤」「白」の先端のカプセル端子を切断し、熱源機側の信号線「赤」「白」とカプセル端子で接続してください。

※「赤」と「赤」 「白」と「白」 をそれぞれ接続してください。
※熱源機の運転制御ができます。



2. リモコンコードの結線

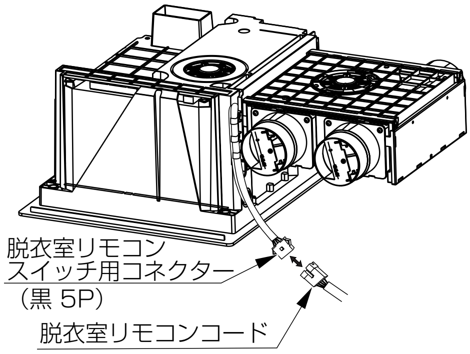
脱衣室リモコンコードの結線

製品本体より出ている脱衣室リモコンスイッチ用コネクター(黒 5P)と脱衣室リモコンコード(付属品)コネクター(黒色：ダツイシツ 5P)を確実に差し込んでください。

お願い

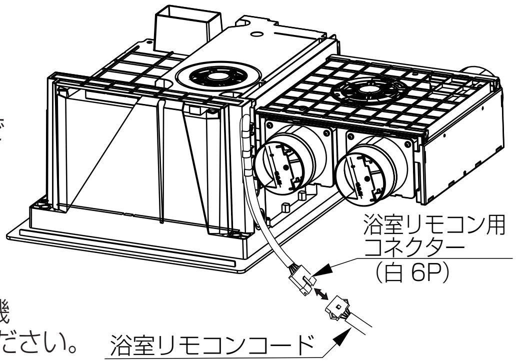
・リモコンコードは切ったり継ぎ足したりしないでください。
・ノイズによる誤動作防止のため、**リモコンコードと現場配線の電源線を束ねて配線しないでください。**

※リモコンコードの配線はリモコンスイッチ側と本体側とでコネクター形状が異なるため、間違えずに接続してください。



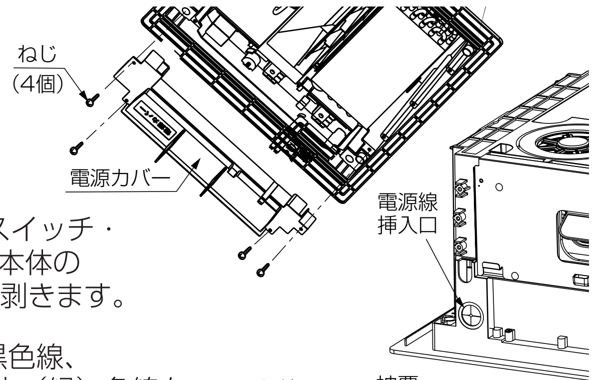
浴室リモコンコードの結線

製品本体と浴室リモコンコードを接続する
●製品本体より出ている浴室リモコン用コネクター(白 6P)と浴室リモコンコード(付属品)コネクター(白 6P)を確実に差し込んでください。
〔お願い〕
●浴室リモコンコードは切ったり継ぎ足したりしないでください。
●ノイズによる誤動作防止のため、浴室リモコンコードと電源線を束ねたり、浴室リモコンコードを輪にして束ねないでください。
※浴室リモコンコードの配線は浴室リモコン側と浴室暖房換気乾燥機本体側とでコネクター形状が異なるため、間違えずに接続してください。



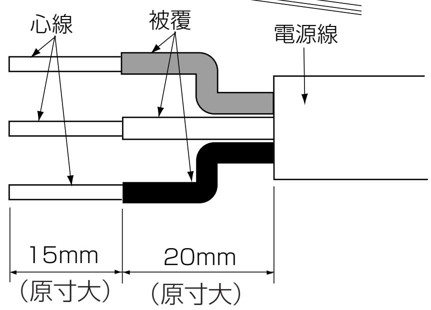
3. 電源線の結線

① 電源カバーを止めている4個のねじをはずし、電源カバーをはずします。



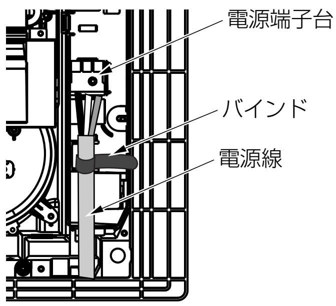
② VVFケーブル（電源線φ1.6　3心、外部換気スイッチ・照明スイッチ接続線φ1.6　2心または3心）を本体の電源線挿入口に引き込み、**先端15mm**の被覆を剥きます。

③ 電源線（VVFケーブル）を電源端子台の"1"に黒色線、端子台"2"に白色線、端子台"3"（アース用）に赤（緑）色線を挿入してください。
赤色線の場合、両端に緑色のテープなどにより接地線であることを表示してください。
（確実に挿入されたことを確認窓で確かめます）



④ 配線は、天井裏で約300mm余裕をもたせてください。
サービス・メンテナンスができなくなります。

⑤ 電源線とアース線は、端子台部に張力が加わらないようにし、バインドにて確実に固定してください。
※本製品は100V専用です。200Vなどの高電圧を接続すると、故障の原因になります。



警告

●屋内分電盤または機器本体用電路部に漏電ブレーカーが設置されているか確認する
●接続時に入力電圧（a.c.100V）を確認する
●端子台のアース表示と電源線のアース線を必ず確認して接続する
火災や感電のおそれがあります。

4. 電動シャッター(現地調達部品)の結線

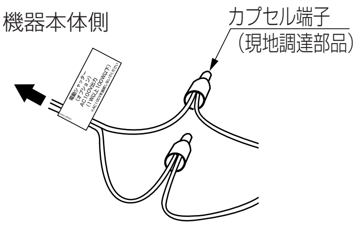
電動シャッター用リード線の先端のカプセル端子を切断し、
電動シャッター(現地調達部品)の接続線とカプセル端子(現地調達部品)で接続してください。
またカプセル端子にはコーキング材を注入してください。
電動シャッターは、換気ファンに連動して下表のように開閉します。

運転状態		100V出力
24時間換気運転中（全モード）		ON
24時間換気停止中	サウナ	OFF
	乾燥	ON
	暖房	OFF
	涼風	ON
	換気	ON
	停止	OFF
	外部換気スイッチON時	ON

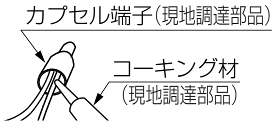
※BV－Y44BL1LMタイプには24時間換気はありません。
※100V出力ON時は電動シャッター開、OFF時は電動シャッター閉となります。

☆**電動シャッターは現地調達してください。**

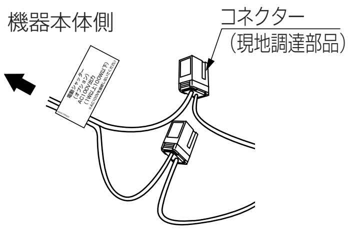
より線を結線する場合



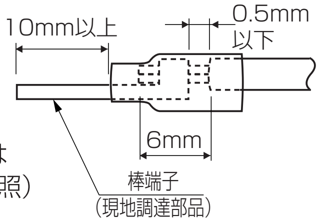
※信号線の接続



単線を結線する場合



※リード線の先端は棒端子を使用して圧着してください。



※連動出力端子の運転モードには変更できます。（25ページ参照）

お知らせ
・接続した線は必ず絶縁防水処理をおこなってください。
・電動シャッター用リード線を使用しない場合も、カプセル端子にコーキング材を注入してください。

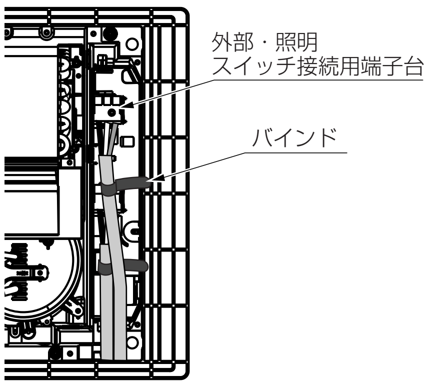
5. 外部換気スイッチ接続線の結線（BV-Y44BT1LMのみ）

※詳しくは20ページの施工例を参照してください。

① 外部換気スイッチ（現地調達部品）の接続線を、外部・照明スイッチ接続用端子台の"1"、"2"の挿入口に挿し込みます。
※接続した外部換気スイッチにより本製品の換気ファンを発停することができます。
※照明と接続する場合には、外部換気・照明スイッチ接続用端子台の"3"に挿入してください。
※外部換気スイッチは接続可能であることを事前に確認ください。
※確実に挿入されたことを確認窓で確かめてください。

② 配線は天井裏で約300mm余裕をもたせてください。
サービス・メンテナンスができなくなります。

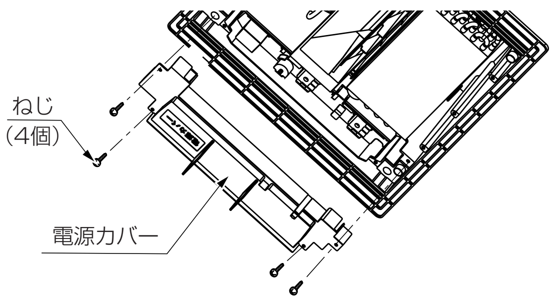
③ 接続線は、端子台接続部に張力が加わらないようにバインドにて確実に固定してください。



お願い
・電気工事が終了したら、必ず結線間違いがないかチェックしてください。

6. 電源カバーの取り付け

① 電源カバーをねじ4個で取り付けます。
この時リード線のはさみ込みや、
ねじの付け忘れに注意してください。



◆ 施工例（外部換気スイッチ）[BV−Y44BT1LMタイプ]

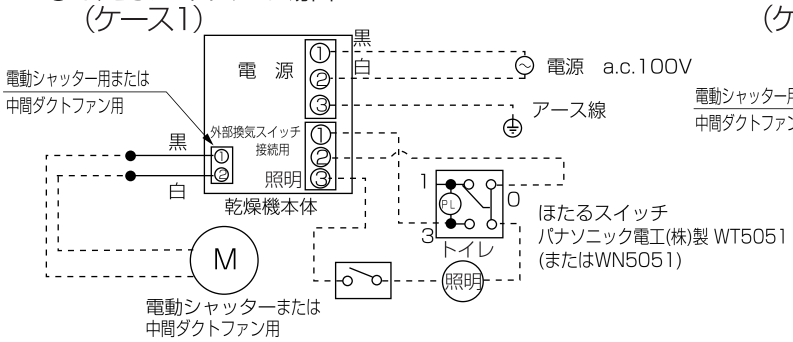
お願い

- 外部換気スイッチの**漏れ電流は5.0mA以下**のものを使用してください。
  また、外部換気スイッチ接続線にはa.c.21mAが流れますので、これに適合するスイッチを選定してください。適合しないスイッチを接続すると正常に作動しません。
- 適合スイッチについては本ページ以降の施工例をご参照ください。
  ※天井裏での結線はジョイントボックスを使用してください。
  ※トイレの照明は150W以下のものを使用してください。

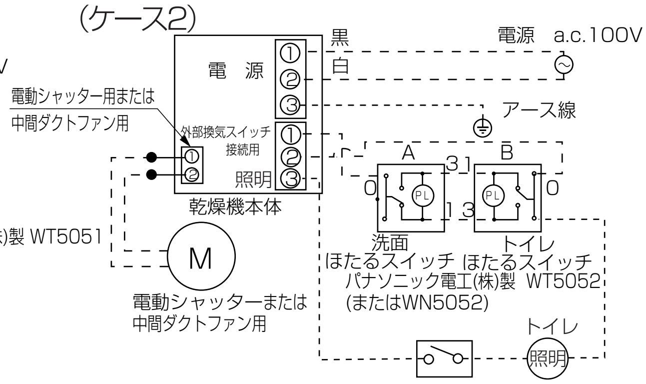
※トイレ照明は別電源でも施工可能です。

●ほたるスイッチの場合

(ケース1)

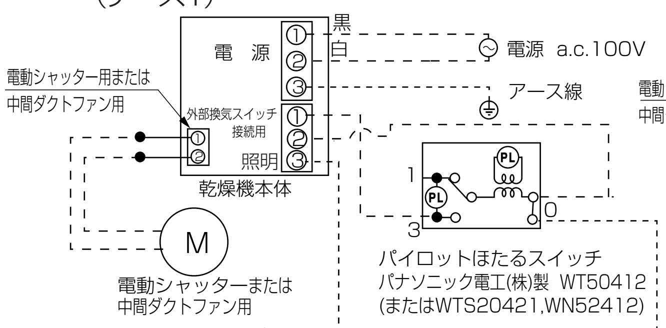


(ケース2)



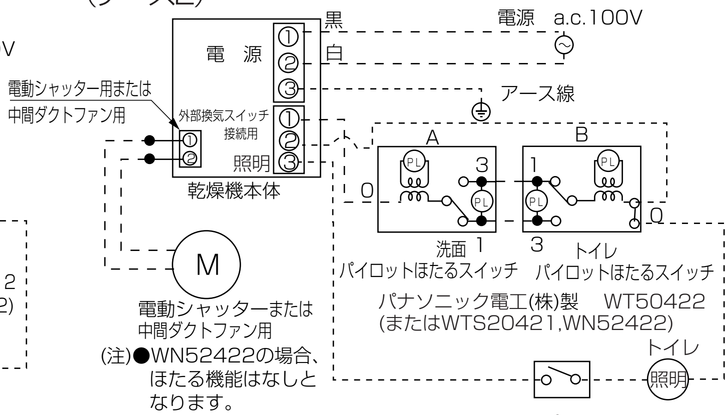
●パイロットほたるスイッチの場合

(ケース1)



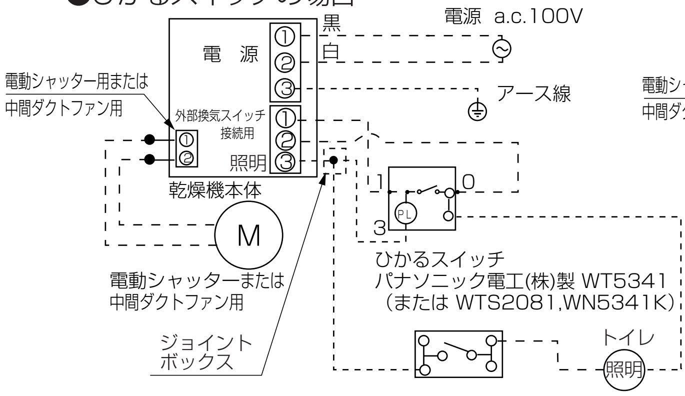
(注)●WN52412の場合、ほたる機能はなしとなります。

(ケース2)

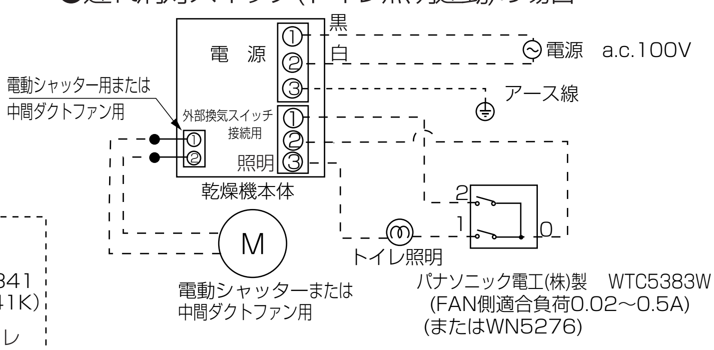


(注)●WN52422の場合、ほたる機能はなしとなります。

●ひかるスイッチの場合

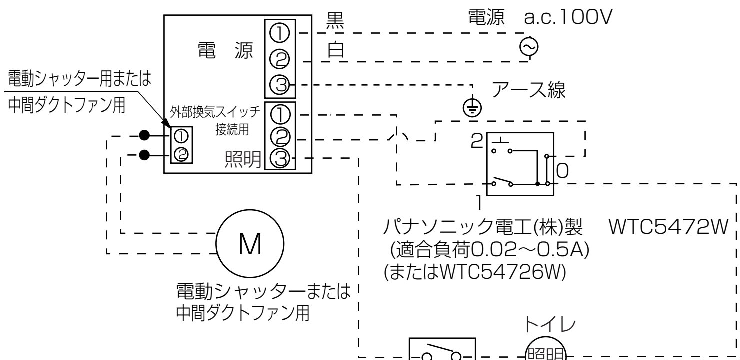


●遅れ消灯スイッチ(トイレ照明連動)の場合



(注) ●照明はトイレ換気スイッチの接続口『1』と、製品本体電源端子台2(白)に接続されている線に接続してください。
●トイレ照明の負荷は、150W以下としてください。
●WN5276の場合、スイッチのランプは、ほたる機能のみとなります。
●WTC5383Wの場合、スイッチの最小負荷容量以上の照明を接続してください。

●一時点灯スイッチの場合



脱衣室・浴室リモコンの取り付け

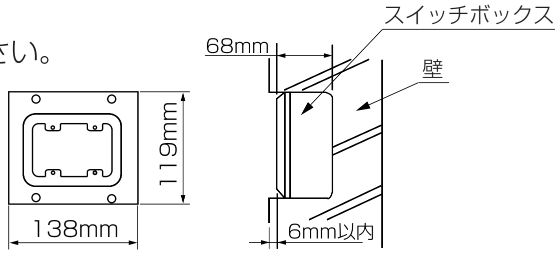
◆ 脱衣室リモコンを取り付ける前に

● スイッチボックスを使って設置する場合

スイッチボックス（JIS C8340）を使用して取付けます。
スイッチボックスの埋め込みは、あらかじめ指示してください。

取付可能な スイッチボックス	壁穴開口サイズ
2個用カバー付き	100×100 mm
2個用カバーなし	100×100 mm
1個用	100×55 mm

※スイッチボックスは製品に付属されていません。

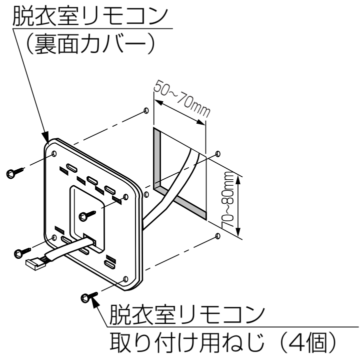


（2個用スイッチボックスカバー付きの場合）

お願い
電線管は、内径がφ20mm以上のものを使用してください。
（JIS C-8305:G22・C25・E25以上の呼び径）

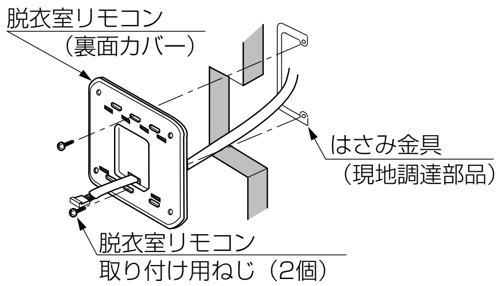
● 直接壁に取り付ける場合

図のサイズの開口を開けてください。
壁開口は幅 50～70(mm)、高さ 70～80(mm)必要です。



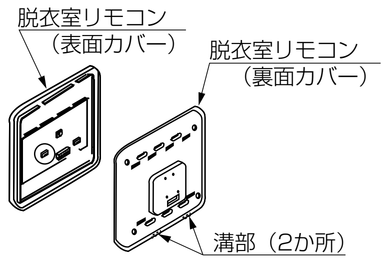
● はさみ金具を使って取り付ける場合

図のサイズの開口を開けてください。
壁開口は幅 50～70(mm)、高さ 90～100(mm)必要です。
※はさみ金具はパナソニック電工（株）製WN3992をご使用ください。



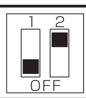
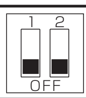
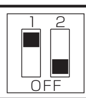
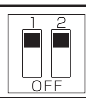
◆ 脱衣室リモコン取り付け作業手順 （24時間換気風量の設定含む）

① 脱衣室リモコンに傷が付かないように、マイナスドライバーなどを裏カバー下部の溝に差し込み、裏面カバーをはずしてください。



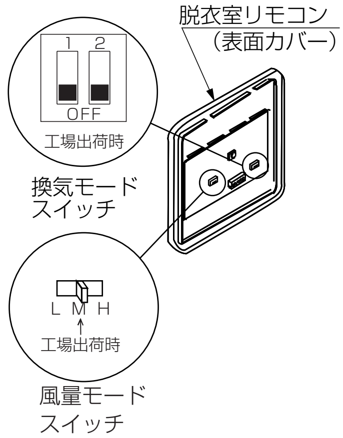
② 【BV―Y44BT1LMタイプの場合】
住宅の延べ床面積に応じて、基板上の換気モードスイッチを設定してください。

・換気モードスイッチの設定

換気モードスイッチの設定				
24時間換気設定風量 (m^3/h)	80	100 (工場出荷時)	120	144

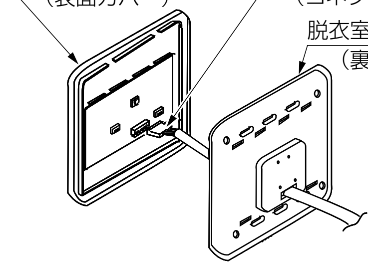
※24時間換気風量60m^3/h設定の方法→25ページ参照
※スイッチの操作は、ボールペンまたはピンセットなどでおこなってください。

【BV―Y44BT1LMタイプ上記以外の設定】
基板上の風量モードスイッチを「H」に切り換えると
換気風量が200m^3/hになります。(工場出荷時は「M」(180m^3/h) に設定されています)
※風量モードスイッチは、「H」または「M」にてご使用ください。



お願い

脱衣室リモコンのモードスイッチの操作は、指先でおこなってください。
ドライバーなどで操作すると基板を傷つけて故障の原因となることがあります。

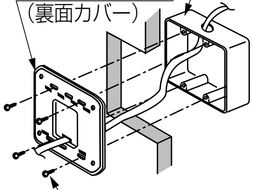


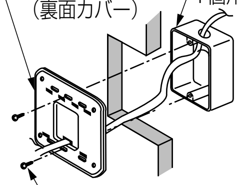
③ 図のように脱衣室リモコンコードのコネクターを差し込みます。

④ 脱衣室リモコンを壁面に固定してください。

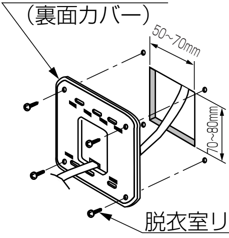
スイッチボックスを使う場合

脱衣室リモコンコードをスイッチボックス内に納め、脱衣室リモコン裏カバーを付属の脱衣室リモコン取り付けねじ (M4×35) 4個で固定します。

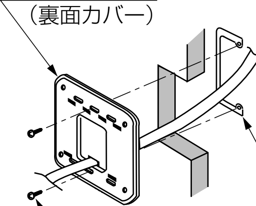




直接壁に設置する場合



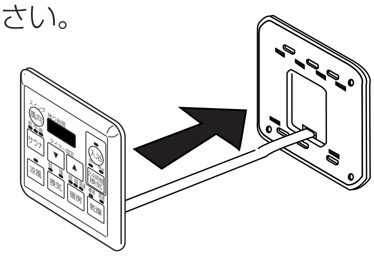
はさみ金具を使って設置する場合



お願い

・脱衣室リモコン（裏面カバー）の固定時には、電動ドライバーを使わずに、裏面カバーが動かない程度にねじを締め込んでください。締めすぎると裏面カバーが変形したり、割れたりするおそれがあります。

⑤ 脱衣室リモコン（表面カバー）を取り付けてください。



◆ 脱衣室リモコンの各種設定　脱衣室リモコンの操作により、下記以降の設定ができます。

注）この操作は脱衣室リモコン設置後、本体の電源を入れてからおこなってください。

●外部換気スイッチの遅れ停止時間の設定（BV－Y44BT1LMのみ）

外部換気スイッチの遅れ時間を、変更する場合に設定します。

設定方法

①換気ボタンを押す。
②さらに換気ボタンを**2秒以上押す。**
　残り時間表示部に、b0◌　を表示します。
③タイマー設定 ▼ ボタンで、残り時間表示部に H0◌ が表示するまで押す。
　（工場出荷時は H00 にセットされています）
④タイマー設定 ▲ ボタンで、お好みの遅れ時間に設定する。
　●60秒経過か、タイマー設定 ▼ ▲ ボタン以外のボタンを押すと、
　　残り時間表示部は残り時間表示に戻ります。

設定モード		詳細設定		
7セグ表示	モード名	7セグ表示	出荷時設定	設定内容
H◌◌	外部換気スイッチ遅延	H00	○	0分
		H01 ⋮ H09		1分 ⋮ 9分
		H10		10分

・0～10分まで1分毎に設定できます。

●本体内の水抜き設定

長期不滞在時でブレーカーをオフする場合に、脱衣室リモコンにて本体配管内の水抜きをおこなえるようにします。

設定方法

①止水栓を閉じる。
②換気ボタンを押す。
③さらに換気ボタンを**2秒以上押す。**
　残り時間表示部に、b0◌　を表示します。
④タイマー設定 ▼ ボタンで、残り時間表示部に Hd◌ が表示するまで押す。
　（工場出荷時は Hd0 にセットされています）
⑤タイマー設定 ▲ ボタンで、Hd1 に設定する。
　●浴室内で排水がおこなわれます。約10分後、排水が完了すると風向ルーバーが閉じ、
　　機器は換気運転に戻ります。
⑥ブレーカーをOFFにしてください。

設定モード		詳細設定		
7セグ表示	モード名	7セグ表示	出荷時設定	設定内容
Hd◌	水抜き	Hd0	○	通常
		Hd1		水抜きモード

再度機器を使用する際の設定方法

①ブレーカーをONにしてください。
②止水栓を開きます。

●熱源機リモコンによる「暖房／サウナ」操作の選択

熱源機または台所リモコンより暖房が押された場合、サウナ運転を可能とします。
（インテリジェント信号対応熱源機で、台所リモコンより暖房操作が可能なタイプと接続したときに本機能が有効となります）

設定方法

①換気ボタンを押す。
②さらに換気ボタンを**2秒以上押す。**
残り時間表示部に、b0◌ を表示します。
③タイマー設定 ▼ ボタンで、残り時間表示部に d0◌ が表示するまで押す。
（工場出荷時は d01 にセットされています）
④タイマー設定 ▲ ボタンで、お好みのモードに設定する。
●60秒経過か、タイマー設定 ▼ ▲ ボタン以外のボタンを押すと、
残り時間表示部は残り時間表示に戻ります。

設定モード		詳細設定		
7セグ表示	モード名	7セグ表示	出荷時設定	設定内容
d◌◌	双方向による「暖房／サウナ」選択	d01	○	暖房
		d02		サウナ

●本体自動乾燥運転のスタート時間の設定

サウナ運転後の本体自動乾燥運転開始までのスタート時間を変更します。

設定方法

①換気ボタンを押す。
②さらに換気ボタンを**2秒以上押す。**
残り時間表示部に、b0◌ を表示します。
③タイマー設定 ▼ ボタンで、残り時間表示部に y0◌ が表示するまで押す。
（工場出荷時は y10 にセットされています）
④タイマー設定 ▲ ボタンで、お好みの時間に設定する。
●60秒経過か、タイマー設定 ▼ ▲ ボタン以外のボタンを押すと、
残り時間表示部は残り時間表示に戻ります。

設定モード		詳細設定		
7セグ表示	モード名	7セグ表示	出荷時設定	設定内容
y◌◌	自動乾燥カウントダウン	y00		サウナ終了後0分後により自動乾燥運転スタート
		y05		サウナ終了後30分後により自動乾燥運転スタート
		y10	○	サウナ終了後1 時間後により自動乾燥運転スタート
		⋮		⋮
		y30		サウナ終了後3時間後により自動乾燥運転スタート
		⋮		⋮
		y60		サウナ終了後6時間後により自動乾燥運転スタート

・スタート時間は、30分毎に設定できます。

●連動出力端子（連動気密シャッター用）の運転モードの限定方法

連動出力端子（連動シャッター用）の運転モードを、限定したい場合に設定します。

品　　名	限定したい内容	運転モード
BV−Y44BT1LM	24時間換気の換気風量を浴室暖房換気乾燥機と他の機器の両方を用いて風量を確保する場合	E02
	換気の給排バランスをコントロールしている場合で、浴室暖房換気乾燥機で大風量を排気するときでも室内が負圧にならないよう自然給気口用ダンパーを切り換える場合	E03
BV−Y44BL1LM	サウナ運転中に別付換気扇を連動させる場合	E04

設定方法

①浴室暖房換気乾燥機が停止中に、タイマー設定 ▼ ▲ ボタンの両方を4秒以上押す。
　残り時間表示部に、A0○ を表示します。
②タイマー設定 ▼ ボタンで、残り時間表示部に E0○ が表示するまで押す。
　（工場出荷時は E01 にセットされています）
③タイマー設定 ▲ ボタンで、限定したいモードに設定する。

●タイマー設定 ▼ ▲ ボタン以外のボタンを押すと、設定モードを解除します。

設定モード		詳細設定		
7セグ表示	モード名	7セグ表示	出荷時設定	設定内容
E○○	連動出力 （連動気密シャッター）	E01	○	24時間換気、換気、乾燥、涼風、外部換気スイッチONの場合
		E02		24時間換気連動の場合
		E03		24時間換気設定風量より大きい換気風量となる運転モードの場合
		E04		サウナ運転中

●24時間換気設定風量の小風量対応（BV−Y44BT1LMタイプのみ）

住宅の延べ床面積が小さい場合、24時間換気風量を60m^3/hに設定できます。

設定方法

①浴室暖房換気乾燥機が停止中に、タイマー設定 ▼ ▲ ボタンの両方を4秒以上押す。
　残り時間表示部に、A0○ を表示します。
②タイマー設定 ▼ ボタンで、残り時間表示部に J0○ が表示するまで押す。
　（工場出荷時は J00 にセットされています）
③タイマー設定 ▲ ボタンで、設定したいモードに設定する。

●タイマー設定 ▼ ▲ ボタン以外のボタンを押すと、設定モードを解除します。

設定モード		詳細設定		
7セグ表示	モード名	7セグ表示	出荷時設定	設定内容
J○○	24時間換気	J00	○	ディップスイッチの設定による
		J0b		60m^3/h

●給水側配管経路の凍結防止制御

凍結防止制御を解除できるようにします。
（別に凍結予防を施してあり、給水管の凍結防止制御を解除させたいときのみに使用します）

設定方法

①浴室暖房換気乾燥機が停止中に、タイマー設定 ▼ ▲ ボタンの両方を4秒以上押す。
残り時間表示部に、A0◌ を表示します。
②タイマー設定 ▼ ボタンで、残り時間表示部に HA◌ が表示するまで押す。
（工場出荷時は HA1 にセットされています）
③タイマー設定 ▲ ボタンで、設定したいモードに設定する。

●タイマー設定 ▼ ▲ ボタン以外のボタンを押すと、設定モードを解除します。

設定モード		詳細設定		
7セグ表示	モード名	7セグ表示	出荷時設定	設定内容
HA◌	給水側配管経路の凍結防止制御	HA0		給水側配管経路の凍結防止制御なし
		HA1	○	給水側配管経路の凍結防止制御あり

●設定風量表示機能について（BVーY44BT1LMタイプのみ）

換気強または24時間換気標準運転中に設定風量を表示します。
設定風量表示中に外部換気スイッチがONされた場合は、表示は変化する場合がありますので
外部換気スイッチはＯＦＦにして表示してください。

設定方法

①換気強または24時間換気標準運転中に 、風向 (風向) ボタンを4秒以上押す。
残り時間表示部に、設定風量および風量一定制御範囲内かの目安を表示します。
②脱衣室リモコンのいずれかのボタンを押すと表示が解除されます。

設定風量表示一覧

タイマー表示部	06	08	09	10	12	14	18	20
設定風量(m^3/h)	60	80	90	100	120	144	180	200

設定風量の表示例（設定風量１８０ｍ^3／ｈの場合）



換気風量一定制御範囲内（※1）　換気風量一定制御範囲外（※2）

※1　換気風量一定制御範囲内とは、風量が安定している状態です。
※2　換気風量一定制御範囲外とは、風量が安定せずに調整中の状態です。
●「―」表示は、運転状態に応じて変化します。

◆ 浴室リモコンの取り付け

〔お願い〕
- 浴室リモコンコードを浴室暖房換気乾燥機本体の端子部に接続するまで浴室暖房換気乾燥機の電源は入れないでください。
- 壁に穴をあけるとき、大きくあけすぎると固定できなくなるので注意する。
- 壁に貫通穴をあけるときは、壁内部にある柱・鉄筋の位置を確認して、取り付け位置を決める。
- 浴室リモコンコードをコンクリートなどに埋め込む場合には、金属管などに収め、浴室リモコンコードに傷がつかないようにする。
- パイプシャフト内に機器の電気配線、リモコン用配線をおこなう場合には電気設備技術基準に準じた防爆工事をおこなう。
- 取り付け壁厚が70 mm以下の場合は､壁と化粧カバーとの間に木などスペーサーを入れる。
- 浴室リモコンのねじ止めには、電気ドライバー、インパクトドライバーなどは使用しない。リモコンが変形し、不具合が発生するおそれがあります。

取り付け場所を選定する

- お客様と相談して使いやすい場所を選ぶ。
- 壁の内部にある柱や鉄筋に貫通穴が引っ掛からない場所を選ぶ。（浴室リモコンコードが接続できなくなります）
- 浴室リモコンに温水・水が直接かかりにくい場所を選ぶ。（浴室リモコンに水が入ると故障の原因となります）
- 段差のない場所を選ぶ。

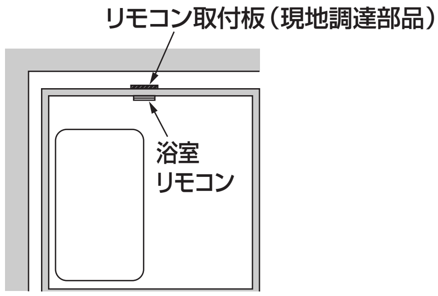




ユニットバスへの取り付け

1．リモコン取付板をはる（現地調達部品）

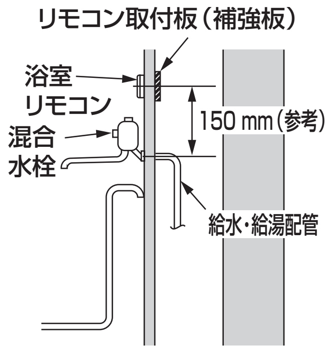
- ユニットバスの搬入の前にリモコン取付板（補強板）をユニットバスの裏側に接着剤などで取り付けます。

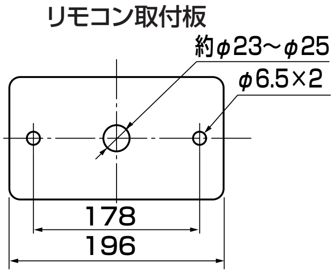


2．ユニットバスとリモコン取付板の穴あけ

- ユニットバスとリモコン取付板同心で、浴室リモコンコードを通すためのφ23～φ25程度の穴をあけます。（混合水栓の上、約150 mm）

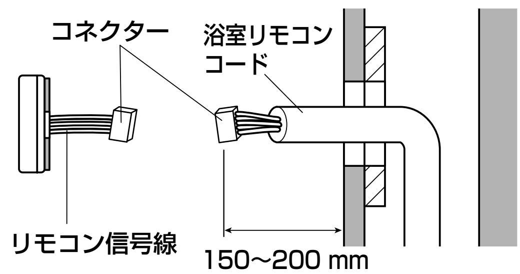
※ リモコン取付穴φ6.5×2はリモコン取付板には貫通しないようにしてください。





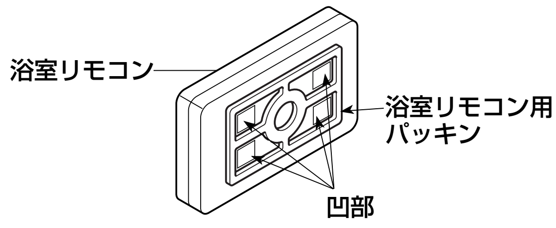
3．浴室リモコンコードを出す

- ユニットバスを設置するときには、浴室リモコンコードを穴から150～200 mm出しておきます。



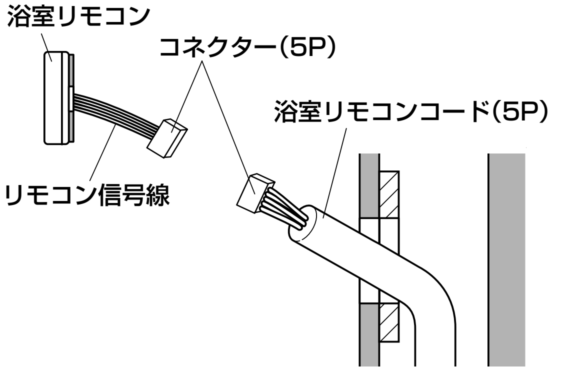
4．浴室リモコンに浴室リモコン用パッキンを貼る

- 浴室リモコン用パッキンの片面の紙をはがし、浴室リモコン裏面の凹部に合わせて傾かないよう貼り付けます。



5. **浴室リモコンと浴室リモコンコードを接続する**
- 浴室リモコンコードのコネクターと浴室リモコン側のリモコン信号線を接続します。

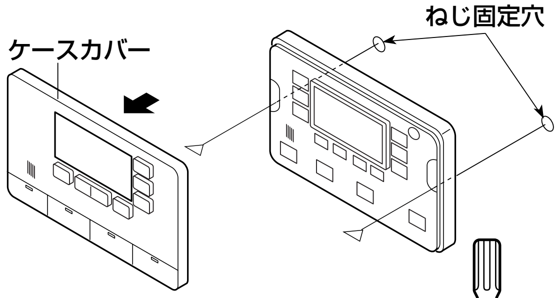
〔お願い〕
- 浴室リモコンコードやリモコン信号線がエッジ部に触れるおそれがある場合は、ビニールテープなどで保護してください。



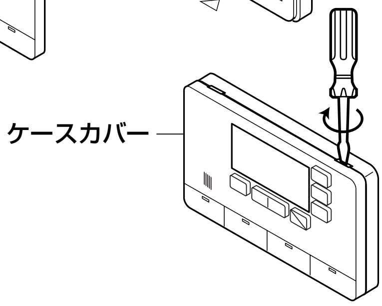
6. **浴室リモコンを壁に固定する**

① 取り付ける壁面を乾いた布などでよくふいて、水気、油分をふき取ります。

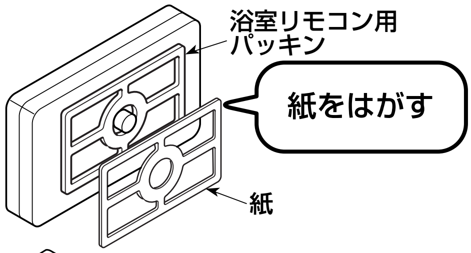
② ケースカバーを取りはずし、ねじ穴とねじ固定穴の位置が合っていることを確認します。



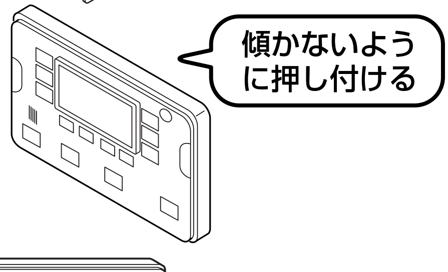
※ マイナスドライバーを図のように使用するとケースカバーの取りはずしができます。
その際、ケースカバーが傷つかないように十分に注意してください。



③ 裏面の浴室リモコン用パッキンにはり付けている紙をはがします。



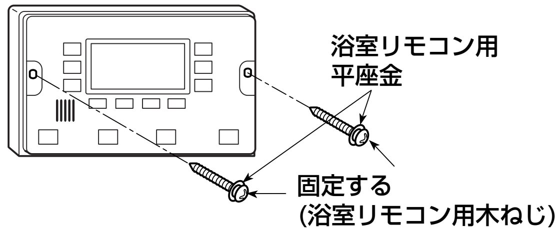
④ 浴室リモコンが傾かないように押し付けます。
（仮固定）



⑤ 付属品の木ねじに浴室リモコン用平座金を通し、浴室リモコンを固定します。

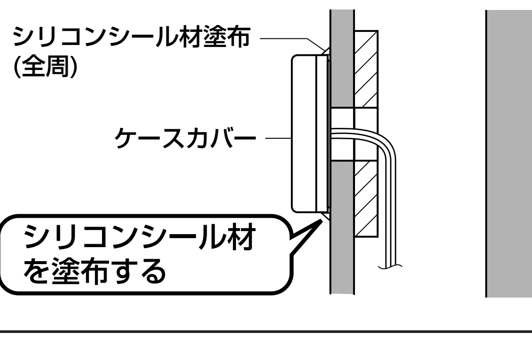
※ ねじの締め付けに、電動ドライバーは使用しないでください。

※ 浴室リモコン用木ねじで固定できない場合は、付属品の浴室リモコン用PYプラグを使用して固定してください。



7. **ケースカバーを取り付ける**

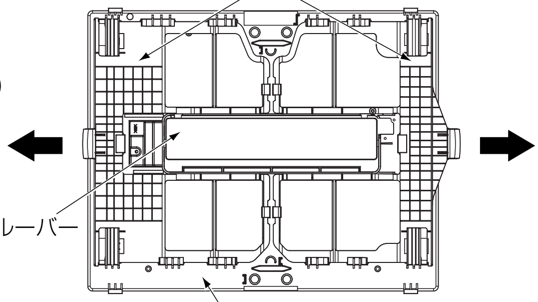
8. **シリコンシール材（現地調達部品）を塗布する**
- 浴室リモコンと壁の接着面全周にシリコンシール材を塗布します。



フロントパネル・ノズルの取り付け

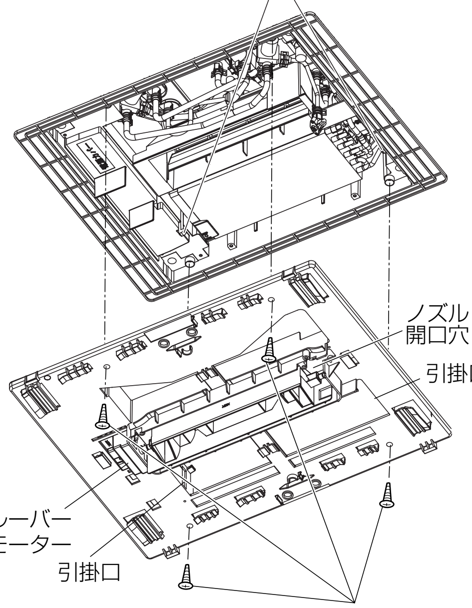
結線作業がすべて完了していることを確認した後、フロントパネルを取り付けてください。

① 保護用段ボールをはずし、
フロントパネル固定板よりフィルター（左右2枚）を
はずします。
（保護用段ボールをはずさないと性能が発揮できません）



② ルーバーをほぼ垂直となる位置までおこします。

③ ルーバーモーターが左側にくる向きで、フロントパネル固定板の引掛口を本体のツメ（2か所）に引掛け、フロントパネル固定板のルーバーコネクター（白）を本体のルーバー接続コネクター（白）に差し込んで接続してください。
<u>差し込んだルーバーコネクターは、フロントパネル固定板の裏側に押し込んでください。押し込まないと、フィルターの挿入ができなくなることがあります。</u>
付属のフロントパネル取り付け用ねじ4個でフロントパネル固定板を本体に固定します。
このときルーバーを開き、ノズル開口穴よりノズルを手前に導いてください。

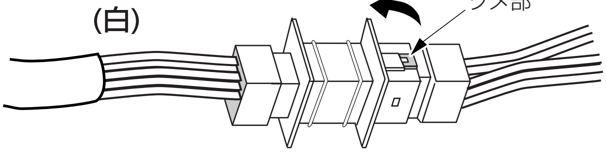


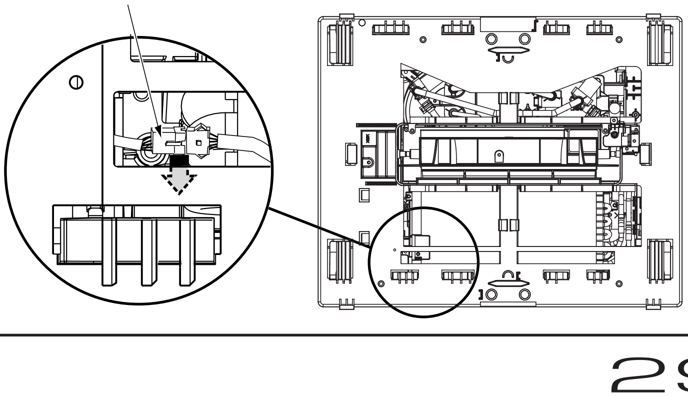
お願い

- ねじの締め込み過ぎに注意してください。締め込みの目安は、フロントパネル固定板とユニットバス天井とのすき間がなくなった状態で、それ以上のねじの締め込みをやめてください。
  締め込むと本体の固定が緩む原因になります。
  またフロントパネル固定板の破損、そり、たわみ、および振動、騒音の原因にもなります。
- 取り付けた後、フロントパネル固定板と天井にすき間がないことを確認してください。
- ねじの締め込みは必ず手締めでおこなってください。
  （最大締め込みトルクの目安 20N・cm(2kgf・cm)以下）
  電動ドライバーを使用すると締め込みトルクが大きすぎてフロントパネル固定板の破損の原因になります。

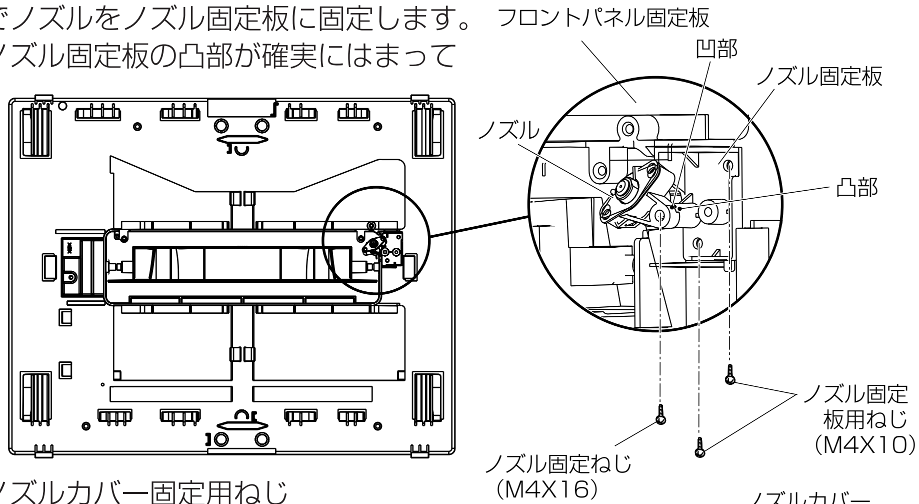
※ルーバーコネクター（白）をはずすときは、橙色のツメ部を「カチッ」と音がするまで手前に起こして引き抜いてください。

ルーバーコネクター
（白）

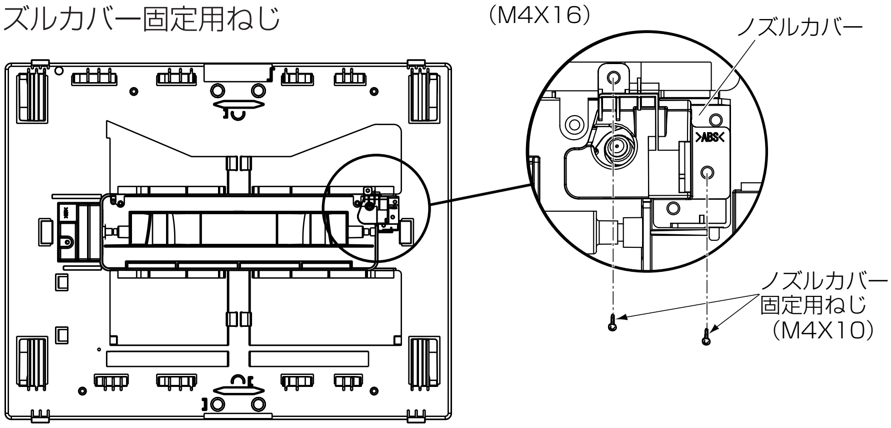




④ ノズル固定板を、フロントパネル固定板とノズルの間に差し込み、ノズル固定板用ねじ2個でフロントパネル固定板に取り付けます。さらに、ノズル固定用ねじでノズルをノズル固定板に固定します。このとき、ノズルの凹部とノズル固定板の凸部が確実にはまっていることを確認します。



⑤ ノズルカバーを取り付け、ノズルカバー固定用ねじ2個で確実に固定します。



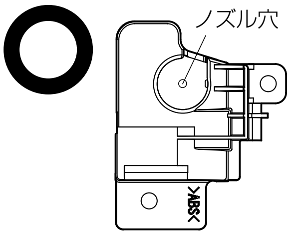
⚠警告

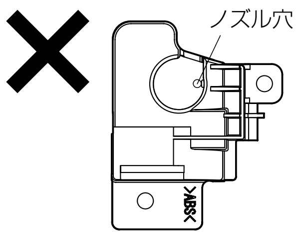
ノズルカバー、ノズル固定板は確実に固定する

ノズルが固定されていないと、吹き出し口から熱水が垂れ、やけどの原因となることがあります。

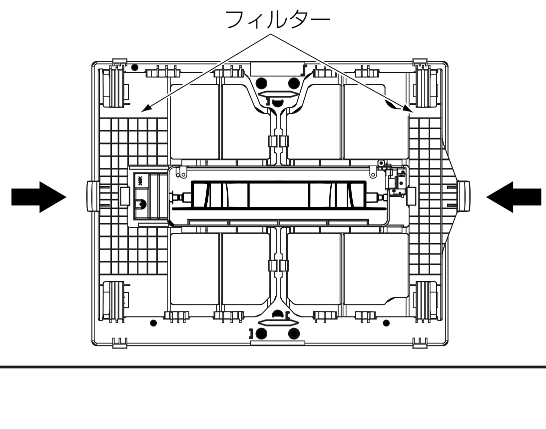
お願い

取り付け後、ノズルカバーの穴よりノズル穴を確認してください。
（ノズルの穴がノズルカバーの穴の中心になるようにしてください）

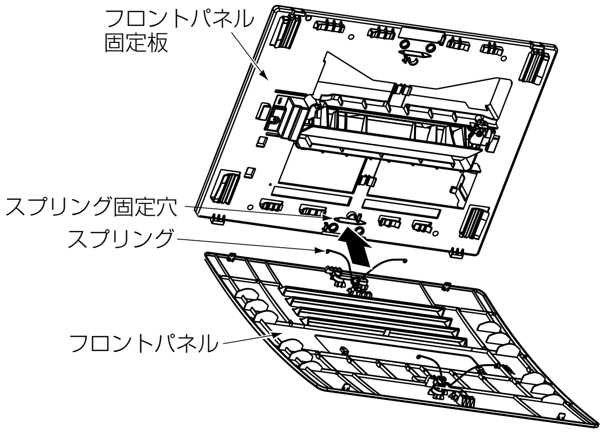




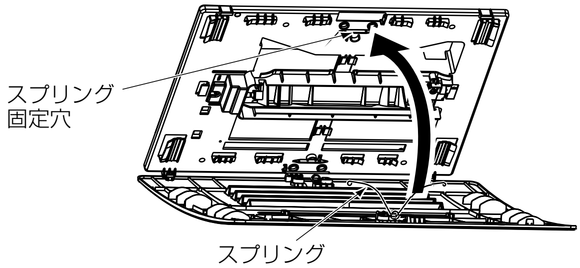
⑥ フィルターを取り付けます。
取り付けのときに、左右を確認してください。



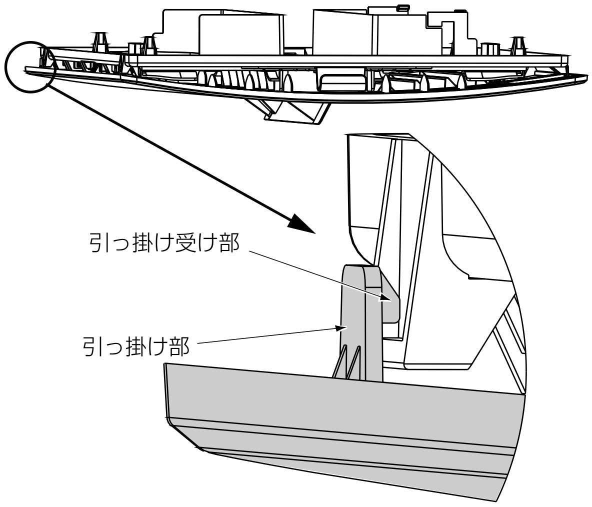
⑦ フロントパネルの吸込側を奥にした向きで、
フロントパネル裏面のスプリングをフロントパネル固定板のスプリング固定穴に挿入します。



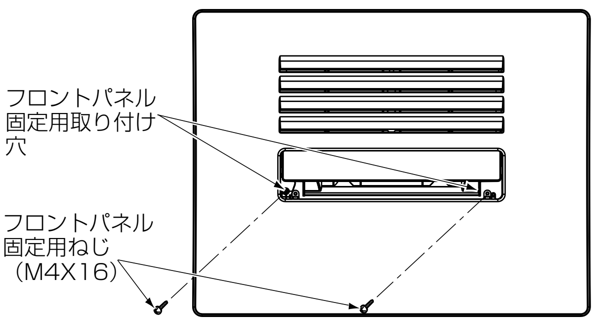
⑧ フロントパネル手前側のスプリングを、
フロントパネル固定板手前側のスプリング固定穴に挿入します。
（ルーバーは開いた状態のままでおこなってください。ルーバーが閉じているとフロントパネルが取り付けできません。）



⑨ フロントパネル4隅の引っ掛け部を、
フロントパネル固定板の引っ掛け受け部（4か所）に引っ掛けます。
※引っ掛け部が確実に引っ掛かっていない場合、
サウナ運転が起動しない場合があります。



⑩ フロントパネル固定用取り付け穴（2か所）に
フロントパネル固定用ねじで取り付けます。
その後、ルーバーは閉じてください。



試運転調整

●インテリジェント信号線を接続した場合には、熱源機側の自動試運転手順にしたがって試運転をおこなってください。
※自動試運転についての詳しい説明は熱源機に同梱の工事説明書をご参照ください。
●自動試運転中は脱衣室リモコンスイッチの暖房急速ランプが点滅します。
（残り時間表示部は“0：00”が点灯します）
●熱源機の試運転において判定「NG」の場合、次の要因が考えられます。
◆熱動弁異常
◆吸込温センサー異常
◆コイル温センサー異常
◆換気・循環・サウナファンモーターの異常
※異常および各動作フローは故障診断シート(本体に添付)に記載しておりますのでご参照ください。
●浴室のドアや窓は必ず閉めてから試運転をおこなってください。閉めない場合、誤判定の原因になります。

＜ 以下の操作はインテリジェント信号線・E－CON信号線どちらを接続した場合でもおこなってください。 ＞

① 熱源機を運転できる状態にしてください。
② 止水栓を開け、給水できる状態にします。
③ 浴室暖房換気乾燥機のブレーカーをONにしてください。
※各モードで異常表示のないことを確認してください。
（ 異常表示 については35ページの表を参照願います）
※ルーバーがリセット動作をおこない、リセット位置（閉位置）になることを確認ください。



BV―Y44BT1LMを示します。

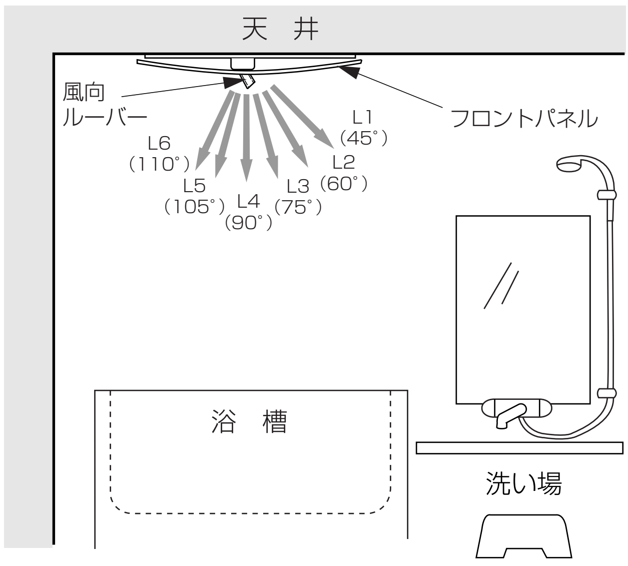
脱衣室リモコン

④ 乾燥 ボタンを押します。
○乾燥急速ランプと残り時間表示“2:00”（電源投入時）が点灯することを確認します。
○タイマー設定ボタンによって残り時間表示が変わることを確認します。
○製品吹き出し口より温風が出ていることを手で確認します。（温風が出るまで数分かかります）
○再度 乾燥 ボタンを押してください。
標準ランプ点灯と、標準運転に切り換わることを確認してください。
○ 風向 ボタンを押しルーバーの角度が

L4 → L5 →L6 →オート(LA1) →(LA2)
(電源投入時)
L3 ← L2 ← L1←(LA3)

と切り換わることを確認してください。
(オート時は、スイングランプが、点灯します)
※ 風向 ボタンを押すと残り時間表示部にルーバー角度が表示されます。

※ 乾燥はオート時もルーバーがゆっくり動くのでオート時のルーバー動作の確認は涼風でおこなってください。



⑤ 暖房 ボタンを押します。
○暖房急速ランプ、残時間表示 “0:30”が点灯することを確認します。
○運転開始後、温水温度が上昇するまでの間、温風が出るまで数分かかる場合があります。

○冷風防止が解除され、製品吹き出し口より温風が出てくることを手で確認します。
○ルーバーはL3（電源投入時）の位置になることを確認してください。
○タイマー設定ボタンによって、残り時間表示が変わることを確認します。
○ 風向 を押しルーバーの角度が切り換わることを確認してください。
○再度 暖房 ボタンを押してください。
ルーバーはL3（電源投入時）の位置になることを確認します。
強ランプの点灯と、強運転に切り換わることを確認します。
○再度 暖房 ボタンを押してください。
弱ランプの点灯と、弱運転に切り換わることを確認します。

⑥ 換気 ボタンを押します。
○ルーバーが 閉の位置になることを確認してください。
○換気強ランプと残時間表示“4:00”（電源投入時）の点灯を確認します。
○タイマー設定ボタンによって残り時間表示がかわることを確認します。
○再度 換気 ボタンを押して、弱ランプの点灯と、弱運転に切り換わることを確認します。

⑦ 涼風 ボタンを押します。
○ルーバーが L3（電源投入時） の位置になることを確認してください。
○涼風ランプと残時間表示“0:30”（電源投入時）の点灯を確認します。
○タイマー設定ボタンによって残り時間表示が変わることを確認します。
○製品吹き出し口より送風されていることを手で確認します。
○ 風向 を押しルーバーの角度が切り換わることとオート動作の確認をしてください。

⑧ サウナ ボタンを押します。
○製品吹き出し口より温風がでていることを確認します。
（温水温度が上昇するまでの間、温風がでません）
○スプラッシュランプと残時間表示“0:30”（電源投入時）の点灯を確認します。
○ルーバーが L3（電源投入時） の位置になることを確認してください。
○ノズルより温水が噴霧することを確認してください。（噴霧するまで約2分かかります）
このときドレン管より排水が確実におこなわれていることを確認します。
注）噴射水がノズルカバーあるいは製品本体にあたり、垂れるときはノズル向きを調整してください。→30～31ページの逆の順序で取りはずし、ノズル向きを調整してください。
○タイマー設定ボタンによって残り時間表示が変わることを確認します。
○ 風向 を押しルーバーの角度が切り換わることとスイングの確認をしてください。
○再度 サウナ ボタンを押して、マイクロランプの点灯を確認します。
このときノズルからの温水噴霧が止まることを確認します。
○ サウナ ボタンを押します。
○すべての表示の消灯および機器の停止を確認します。

⑨ 24時間換気 ボタンを押します。(BVーY44BT1LMタイプのみ)
○標準ランプの点灯を確認します。
○再度 24時間換気 ボタンを押して、弱ランプの点灯を確認します。

⑩ 24時間換気運転中に 浴室換気切 ボタンを押します。(BVーY44BT1LMタイプのみ)
○ 浴室換気切 ランプと残り時間表示“3：00”（電源投入時）の点灯を確認します。

⑪ 外部換気スイッチを接続した場合（BVーY44BT1LMタイプのみ）
○外部換気スイッチを「入」にし、換気ファンが運転することを確認してください。
○外部換気スイッチを「切」にし、すべての運転動作が停止したことを確認してください。
（ただし、外部換気スイッチの遅延設定をしている場合は、換気ファンの停止が設定した時間だけ遅れます）

浴室リモコン



① [スプラッシュサウナ] スイッチを押します。

○製品吹き出し口より温風がでていることを確認します。
（温水温度が上昇するまでの間、温風がでません）
○スプラッシュランプと残時間表示“0:30”（電源投入時）の点灯を確認します。
○ルーバーが L2（電源投入時） の位置になることを確認してください。
○ノズルより温水が噴霧することを確認してください。
このときドレン管より排水が確実におこなわれていることを確認します。
○ [▽ △] スイッチによって残り時間表示が変わることを確認します。
○ [風向] を押し [▽ △] スイッチでルーバーの角度が切り換わることとオート動作の確認をしてください。

② [マイクロサウナ] スイッチを押します。

○マイクロランプの点灯を確認します。
このときノズルからの温水噴霧が止まることを確認します。
○ [サウナタイマー] スイッチを押します。
○サウナタイマーランプと表示部に“0:00”の点灯を確認します。
○ [サウナ温度] スイッチを押します。
○サウナ温度ランプと表示部に“3”の点灯を確認します。
○ [▽ △] スイッチで表示部の数値が変わることを確認します。
○ [音量] スイッチを押します。
○表示部に“2”の点灯を確認します。
○ [▽ △] スイッチで表示部の数値が変わることと音量が変わることを確認します。

③ [涼風] スイッチを押します。

○ルーバーが L3（電源投入時） の位置になることを確認してください。
○涼風ランプと残時間表示“0:30”（電源投入時）の点灯を確認します。
○ [▽ △] スイッチによって残り時間表示が変わることを確認します。
○製品吹き出し口より送風されていることを手で確認します。
○ [風向] を押し [▽ △] スイッチでルーバーの角度が切り換わることとオート動作の確認をしてください。

④ [暖房] スイッチを押します。

○暖房ランプと残時間表示“0:30”（電源投入時）の点灯を確認します。
○運転開始後、温水温度が上昇するまでの間、温風が出るまで数分かかる場合があります。
○冷風防止が解除され、製品吹き出し口より温風が出てくることを手で確認します。
○ルーバーはL3（電源投入時）の位置になることを確認してください。
○ [▽ △] スイッチによって残り時間表示が変わることを確認します。
○ [風向] を押し [▽ △] スイッチでルーバーの角度が切り換わることとオート動作の確認をしてください。
○ [暖房温度] を押してください。
○暖房温度ランプと表示部に“3”の点灯を確認します。
○ [▽ △] スイッチで表示部の数値が変わることを確認します。
○再度 [暖房] スイッチを押します。

すべての運転動作が停止したことを確認してください。

○サウナ運転終了後、60分（出荷時設定の場合）経過したら装置内の乾燥運転（「7セグ」に“dry（ドライ）”を表示します。約10分）をおこないます。
○すべての運転が終了した後に「水抜き」（23ページ参照）を実施し、製品本体内の水抜きをおこなってください。
○水抜き終了したのち、ブレーカーをOFFにしてください。

⚠警告

サウナ運転終了後は、装置内乾燥をおこなう
残水による菌の繁殖により、多大な被害を引き起こすことがあります。

● その他
○水漏れ（温水配管接続部など）、異常音、振動、その他異常のないことを確認してください。
※試運転終了後ブレーカーをOFFにしてください。（試運転で設定変更したタイマー時間、ルーバー角度を初期設定値に戻すため）
※浴室暖房換気乾燥機の暖房発停機能のある熱源機リモコンを使用の場合、熱源機のリモコンからの運転確認をおこなってください。

異常表示

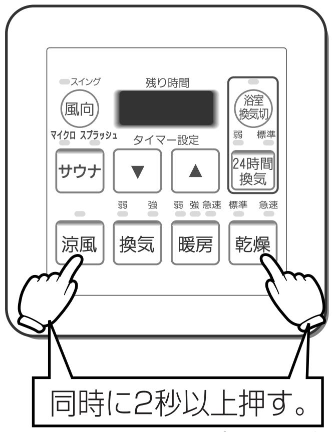
エラー項目	残り時間表示	処　置
吸込温センサー異常	314	吸込温センサー、本体基板の確認
外気温センサー異常	324	外気温センサー、本体基板の確認
コイル温センサー異常	334	バス乾コイル温センサー、本体基板の確認
排水温センサー異常	344	排水温センサー、本体基板の確認
ノズル温センサー異常	354	ノズル水温センサー、本体基板の確認
循環ファンモーター異常	624	循環ファンモーター、本体基板の確認
換気ファンモーター異常	684	換気ファンモーター、本体基板の確認
サウナファンモーター異常	604	サウナファンモーター、本体基板の確認
脱衣室リモコン通信異常	744	脱衣室リモコン基板、本体基板の確認
浴室リモコン通信異常	754	浴室リモコン基板、本体基板の確認
加湿異常	564	サウナ用熱動弁、給水弁、本体基板、フロントパネル取り付けの確認
排水異常	434	フロートセンサー、排水勾配の確認
熱源機異常	***	熱源機の説明書に従って、対処してください。
熱源機給水異常	043	熱源機の説明書に従って、対処してください。

●リセット操作について

下記“こんなとき”の場合は、脱衣室リモコンスイッチのリセット操作をおこなってください。

① 涼風 ボタンと 乾燥 ボタンを同時に2秒以上押してください。

② うまくリセットされない場合はもう一度くり返してください。



BV―Y44BT1LMを示します。

こんなとき

●タイマー表示部に浴室暖房換気乾燥機の異常表示しているとき。
●停電もしていなく、ブレーカーもＯＮにもかかわらず、
　リモコンを操作しても動かないとき。
●リモコンのランプが不規則に点滅したり、一度にたくさん光る場合。
●停止操作しても停止しないとき。

●エラーコード記憶表示について

脱衣室リモコンに過去10回分のエラーコードを表示させることができます。

① タイマー設定 ▲ ボタンを4秒以上押してください。最後に記憶されたエラーコードが表示されます。

② タイマー設定 ▼ ボタンを押すたびに過去10回まで記憶されたエラーコードが表示されます。
エラーが発生していない場合は表示されません。

③ エラーコード表示中に、タイマー設定 ▲ ボタンを4秒以上押すと記憶されたエラーコードが消去されます。

④ タイマー設定 ▲ ▼ ボタン以外を押すとエラーコード記憶表示を解除します。

●乾燥運転時のルーバーの動作について

乾燥運転時のルーバーの動作は、ゆっくり動いたり、止まったりしているため、一見**止まって
いるように見えますが、**乾燥時間短縮のためこのような動作にさせています。異常ではありません。

＜スイング動作表＞

ルーバー角度	マニュアル							オート			
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	初期値	LA	LA1	LA2	LA3
暖房　急速、強							75° (L3)	60～90° (約14S)	――		
暖房　弱							75° (L3)	45～90° (約21S)	――		
涼　風							75° (L3)	50～110° (約28S)	――		
乾燥　急速	45°	60°	75°	90°	105°	110°	90° (L4)	――	37ページ記載		
乾燥　標準							90° (L4)	――	37ページ記載		
サウナ　スプラッシュ							60 (L2)	60～90° (約14S)	――		
サウナ　マイクロ							75° (L3)	60～90° (約14S)	――		

（　）内はスイング周期

●乾燥運転・オート設定時のルーバー動作

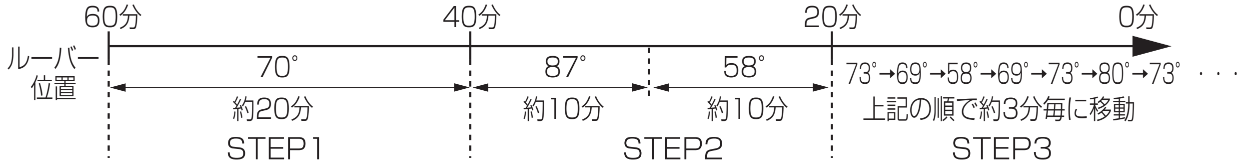
STEP1　→　STEP2　→　STEP3の順で動作します。

約(リモコン設定時間×1/3)時間、指定位置に固定 ……………………………STEP1
約(リモコン設定時間×1/3)時間、2つの指定位置間を約10分毎に移動………STEP2
約(リモコン設定時間×1/3)時間、4つの指定位置間を約3分毎に移動　………STEP3

※ルーバーの回転速度は約0.7°/秒
※ルーバーの指定位置範囲は、下表による。

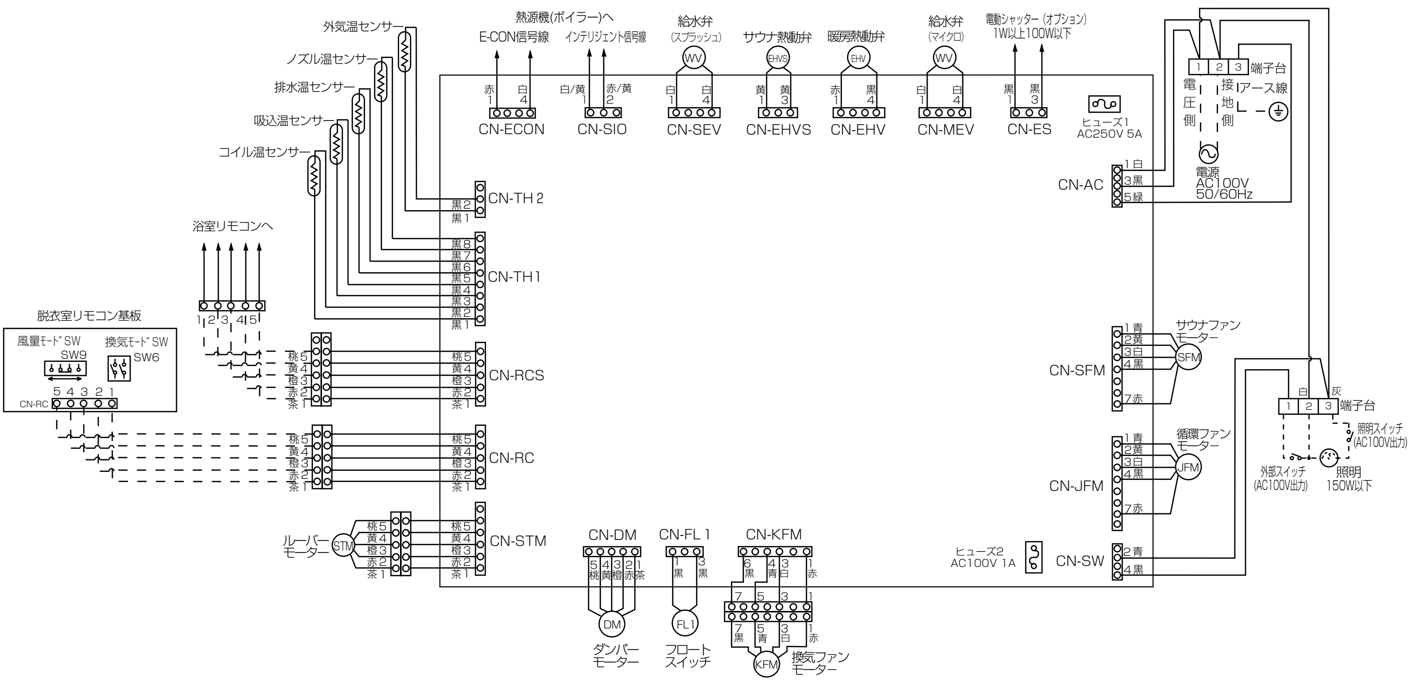
風向指定	指定位置の範囲	STEP 1	STEP 2	STEP 3
オート1（LA1）	約60°～90°	約70°	58°，87°	58°，69°，73°，80°
オート2（LA2）	約80°～110°	約90°	79°，108°	79°，90°，94°，101°
オート3（LA3）	約90°～120°	約102°	90°，119°	90°，101°，105°，112°

（例）リモコン設定時間60分オートLA1設定時

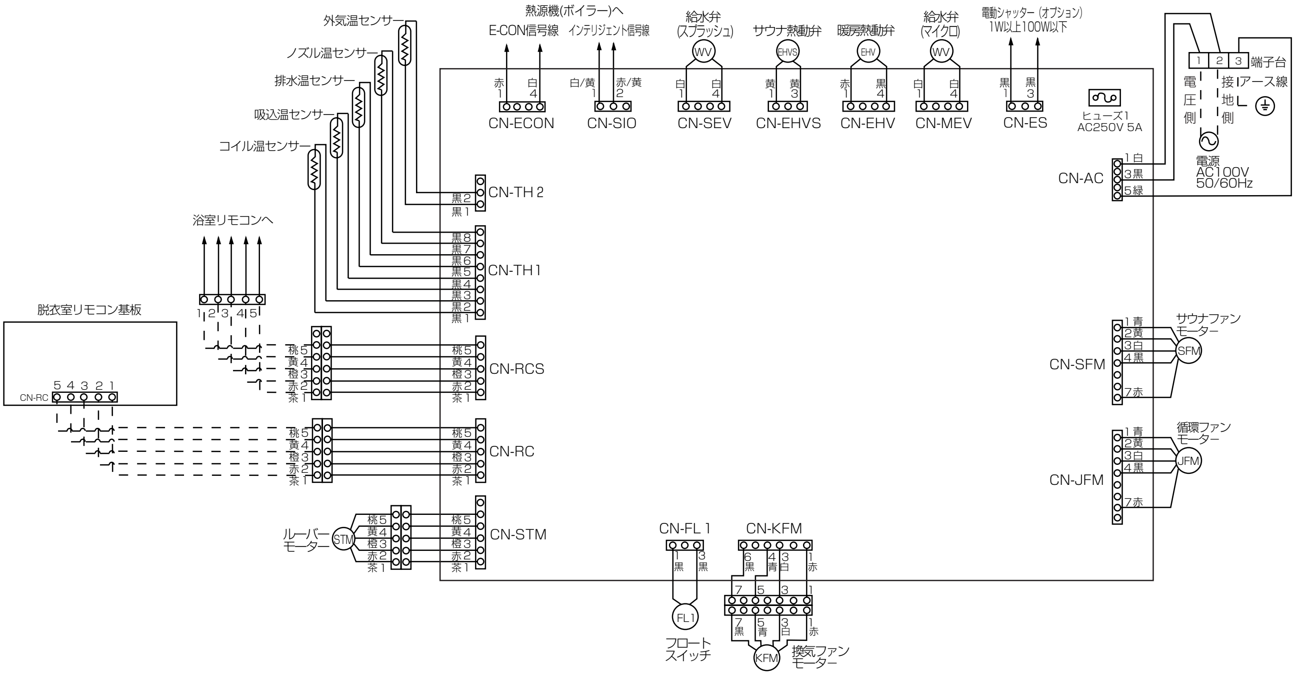


電気回路図

（BV−Y44BT1LM）

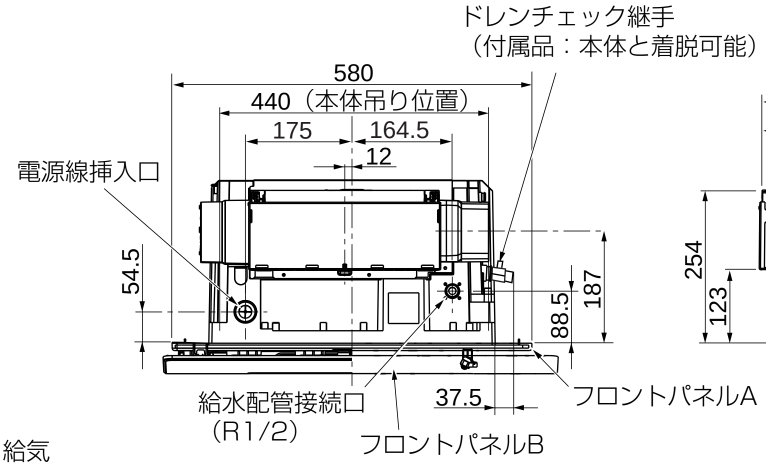


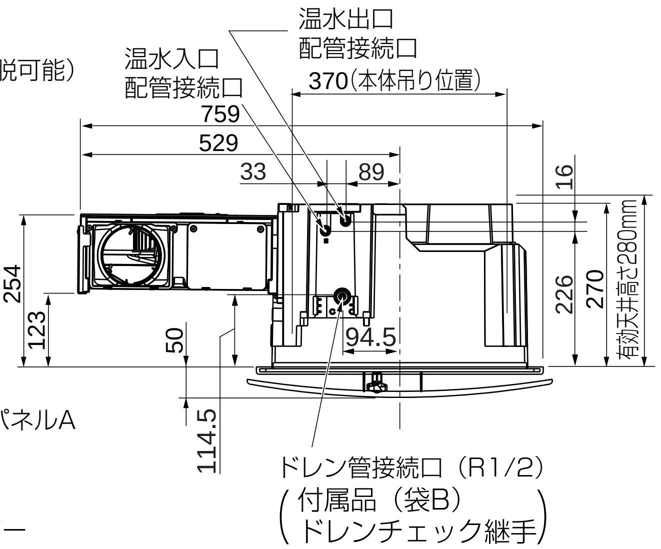
（BV−Y44BL1LM）

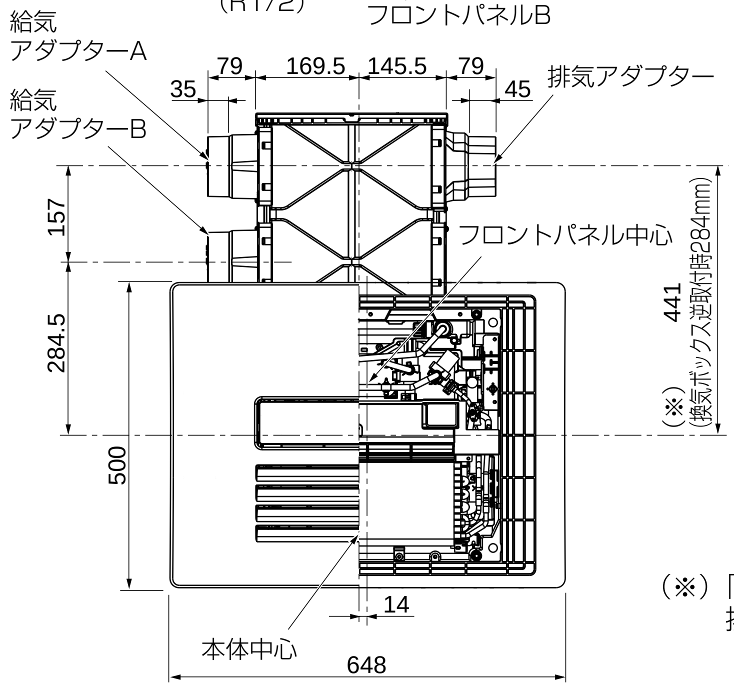


各部の名前と寸法

単位：mm







（※）「換気ボックスの取り付け」（9ページ）の
排気方向を変更したときの寸法

●BV−Y44BL1LMは給気アダプターはありません。

設置確認チェックリスト

項　目	内　容	参照ページ	チェック欄
本　体　設　置	ユニットバスの選定は適切ですか。	5ページ	
	機器の重量に対し十分な強度を確保していますか。	6ページ	
	メンテナンスに必要な点検口、空間はありますか。	5ページ	
温水配管工事	配管接続部から水もれはありませんか。	8ページ	
	往き管、戻り管の接続は確実ですか。	8ページ	
給　水　工　事	水道圧は適切ですか。0.15～0.5MPa（1.5～5kgf／cm^2）	13ページ	
	配管接続部から水もれはありませんか。	13ページ	
	給水口フィルターにごみは詰まっていませんか。	13ページ	
排　水　工　事	ドレンチェック穴より水を入れたときに、排水は確実におこなわれていますか。	14ページ	
	サウナモードで試運転をおこなったときに、排水は確実におこなわれていますか。	33ページ	
運　　転	各種運転は確実におこなわれていますか。	32～36ページ	
	サウナモードでの運転終了一定時間後、装置内の乾燥運転は確実におこなわれていますか。	32～36ページ	
	ルーバーの動作は確実におこなわれていますか。	32～36ページ	
換気ダクト工事	ダクトの接続は空気もれなどなく確実におこなわれていますか。	12ページ	
	排気ダクトは下り勾配が確保されていますか。	12ページ	
フロントパネルの取り付け	ノズル・ノズル固定板・ノズルカバーは確実に固定されていますか。	29～31ページ	

製造元　パナソニック電工株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

Y44BT1LM803D-M0206-4108